

---

# 日立ダイアグモニタHDM-8000 スキャンツール補助金 実績報告用「診断データ」作成手順

2020年7月27日版  
株式会社日立オートパーツ&サービス

本資料の内容は予告無く変更する場合がございます。

内容	掲載ページ
1.本資料、製品に関するお問い合わせ先について	2
2.「診断データ」の提出について	3
3.HDM-8000のPDF形式による出力例	4~5
4.PDF形式による診断データ作成のご注意点	6
5.HDM-8000操作手順	7
●ステップ1:自社情報設定※	8~14
●ステップ2:車両情報登録	15~42
●ステップ3:全DTC点検の実行	58~77
●ステップ4:「診断データ」の出力(PDFによる出力)	78~91
●ステップ5:エクセルによる「診断データ」出力	92~112
●ステップ6:ファイル移動について	113~129
●ステップ7:ファイル移動の修正方法について	130~144

※:ステップ1の設定は初回のみです。以後、追加して診断データを作成する場合はステップ2から開始して下さい。

# 1.本資料、製品に関するお問い合わせ先について

本資料、もしくは日立ダイアグモニタHDM-8000の操作方法等に関するご不明点につきましては、下記までお問い合わせ下さい。

〒135-0062  
東京都江東区東雲2-10-14  
株式会社日立オートパーツ&サービス  
カスタマーサポートセンター  
電 話:03-3527-6323  
ファックス:03-3527-6324

また、製品情報、取扱説明書等は日立自動車健康診断ホームページにも掲載しておりますので御参照下さい。

URL：[https://www.hdm.hitachiautoparts.co.jp/hdm\\_usr/html/index.php](https://www.hdm.hitachiautoparts.co.jp/hdm_usr/html/index.php)

※本資料は「診断データ」作成に関連する機能に絞って編集されております。

## 2.「診断データ」の提出について

スキャンツール補助金の公募要領で提出が求められている「診断データ」は以下

①～④となります。

- ①車両を診断した年月日
- ②診断した車両の車両番号(ナンバー)または車台番号
- ③診断した車両の型式
- ④診断した車両においてDTC(故障コード)が検出された場合のDTC及び定義

日立ダイアグモニタHDM-8000は、以下の2通りの方法で「診断データ」を作成することが可能です。


### ●PDF(健康診断シート)で作成

上記①～④を一括でPDF(健康診断シート)で出力します。出力例は4～5ページ、操作方法は本書の8～91ページ(ステップ1～4)をご参照下さい。

### ●CSVデータに変換して作成

HDM8000で個別のシステムの故障診断を行った際、画面上に表示された故障コード(上記④に該当)を基に「診断データ」を作成する方法です。本書の92～112ページ(ステップ5)をご参照下さい。

### 3.HDM-8000のPDF形式による出力例

 <b>健康診断シート</b>	お客様名： 健康診断日：2015/12/22	登録番号：足立301め860 走行距離：23500km	車種：ジューク 型式：DBA-YF15	常陸オート TEL. 03-3527-6246 FAX. 03-3527-6249
<b>【全DTC】</b>				
1次点検の結果				
点検内容	システム名	故障コード	内容	
ステアリングシステム	電動パワステ	故障コード なし		
エンジンシステム	エンジン	P0171	空燃比リッチ B1	
エアコンシステム	メータ/メータ&エアコンファン	故障コード なし		
	HVAC	B2631	日射センサ	
ボディコントロールシステム	IPDM E/R	故障コード なし		
	BCM	故障コード なし		
ブレーキシステム	ABS	故障コード なし		
トランスミッションシステム	AT/CVT	故障コード なし		
エアバックシステム	IPバック	故障コード なし		

日立ダイアグモニタHDM-8000の「健康診断」機能を活用することで、パシフィックコンサルタンツ株式会社に報告する際に必要な「診断データ」をPDF化して一括で作成、出力することが可能です。

2/3

### 3.HDM-8000からのPDF形式による出力例(拡大)

お客様名： 登録番号：足立301め860 車種：ジューク  
健康診断日：2015/12/22 走行距離：23500km 型式：DBA-YF15

**健康診断シート** お客様名： 登録番号：足立301め860 車種：ジューク  
健康診断日：2015/12/22 走行距離：23500km 型式：DBA-YF15 常陸オート TEL. 03-3527-6246 FAX. 03-3527-6249

【全DTC】

1次点検の結果	点検内容	システム名	故障コード	内容
ステアリングシステム	電動パワーステアリング		なし	
エンジンシステム	エンジン		P0171	空燃比リッチ B1
エアコンシステム	メータ/メータ&IPDM E/R		なし	
	HVAC		B2631	日射センサ
ボディコントロールシステム	IPDM E/R		なし	
	BCM		なし	
ブレーキシステム	ABS		なし	
トランスミッションシステム	AT/CVT		なし	
エアバックシステム	エアバック		なし	

エンジンシステム	エンジン	P0171	空燃比リッチ B1
----------	------	-------	-----------

日立ダイアグモニタHDM-8000の「健康診断」機能で「健康診断シート」を作成すると、「診断データ」として必要な以下情報を一まとめにすることが可能です。

- ・「車両を診断した日(健康診断日に記載)」
- ・「車両番号(登録番号の欄に記載)」
- ・「車両の型式」
- ・「診断した車両においてDTC(故障コード)が検出された場合のDTC及び定義」

## 4.PDF形式による診断データ作成のご注意点

- HDM-8000でのPDF形式による診断データ作成は「健康診断シート」作成機能による作成となります。
- 「健康診断シート」作成機能は、弊社製のバッテリーチェッカー、イグニッションコイルチェッカーによる点検データを取り込むことが可能ですが、これらのデータは「診断データ」とはされておられません。
- バッテリーチェッカー等のデータが「健康診断シート」に含まれると本来提出すべき「診断データ」が判別しにくくなることが予想されます。
- パシフィックコンサルタンツ株式会社殿での「診断データ」の内容確認を行い易くする為、HDM-8000へのチェッカーの計測データ転送は「診断データ」の作成後に行ってください。

## 5.HDM-8000操作手順

---

- PDFで「診断データ」を作成する場合  
次ページ以降のステップ1～4をご参照下さい。
- エクセル形式で「診断データ」を作成する場合  
92ページからのステップ5をご参照下さい。



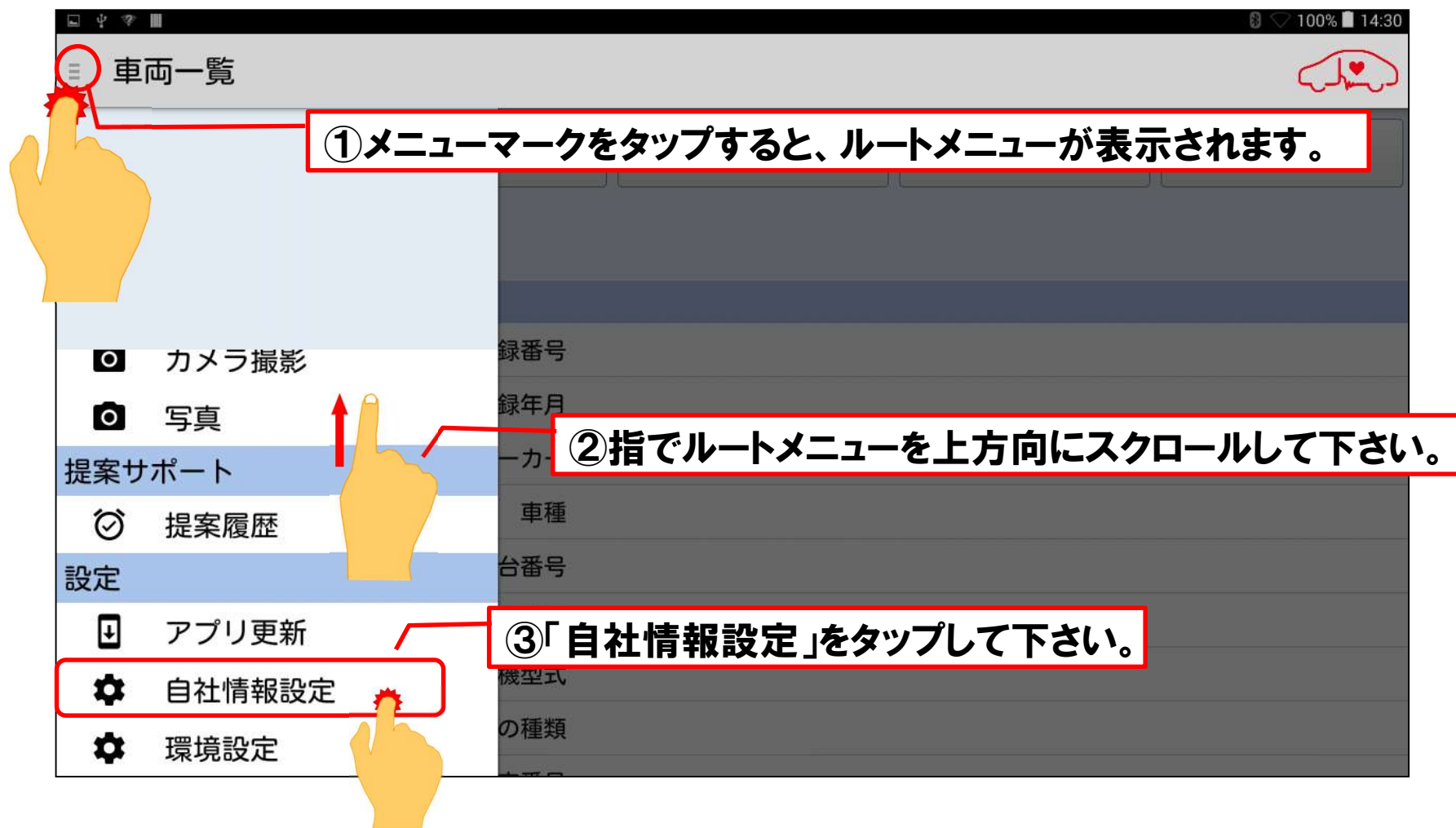
---

# ステップ1 自社情報設定



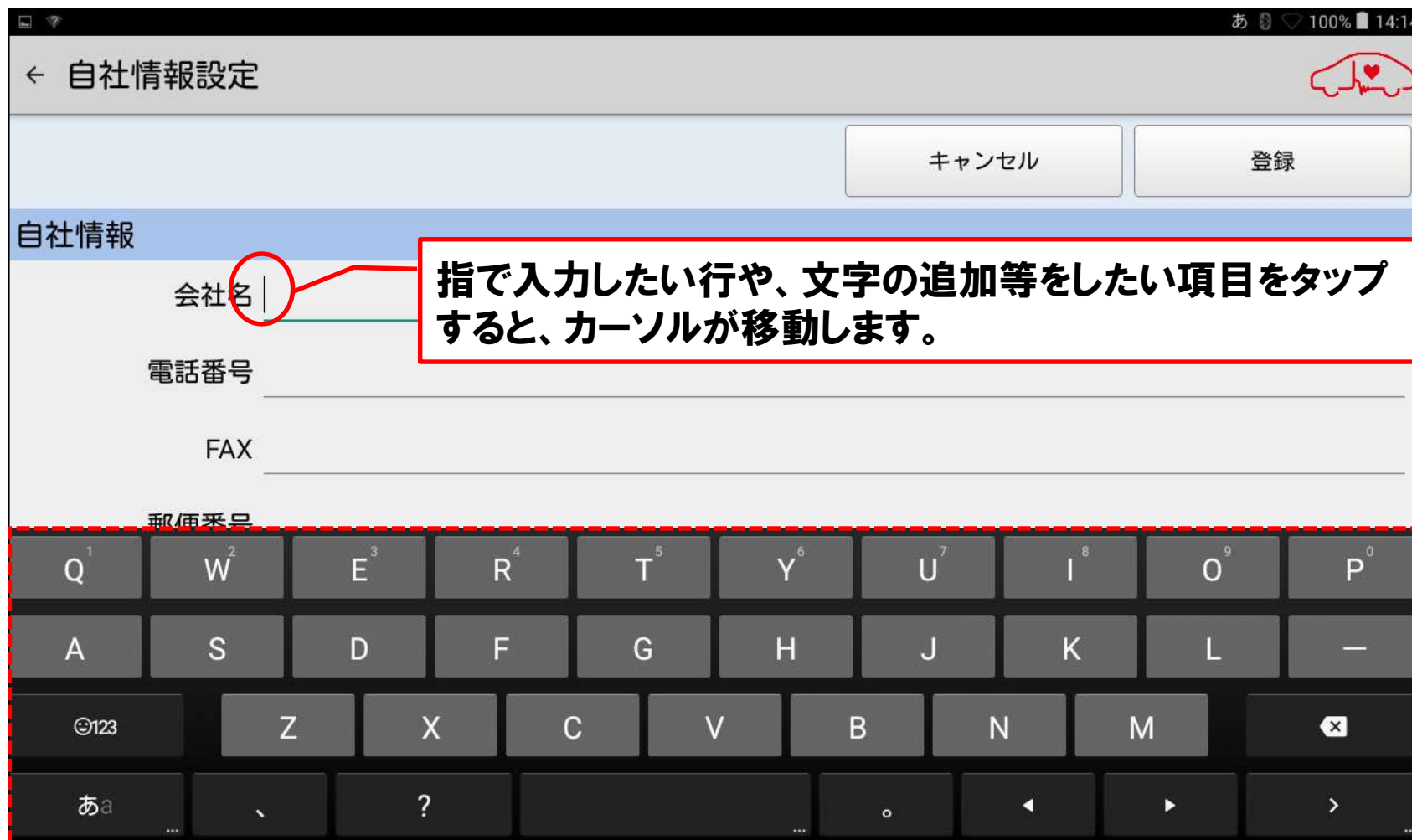
# 手順1. 自社情報設定画面の呼び出し

ルートメニューを表示させて、ルートメニューの「自社情報設定」をタップして下さい。



## 手順2. 自社情報の入力

「自社情報設定」画面が表示されます。キーボードが表示されますので、会社名、電話番号、住所等の自社情報を入力して下さい。



## 手順3. 自社情報の印字する順番の設定

会社名、電話番号、FAX番号、郵便番号、住所を入力されましたら、「自社情報印字設定」で自社情報を健康診断シートに印字する順番を設定します。

**※診断データ作成時は「自社情報印字なし」は選択しないで下さい。**

← 自社情報設定

キャンセル 登録

自社情報

会社名 株式会社常陸自動車整備工場東雲店

電話番号 03-3527-6323

FAX 03-3527-6324

郵便番号 1350062

住所 東京都江東区東雲2-10-14

マンション・ビル名

自社情報印字設定 ○ 住所／会社名／電話&FAX  
○ 会社名／住所／電話&FAX  
○ 会社名／電話&FAX  
○ 自社情報印字なし

いずれかの選択肢をタップして選択して下さい。

- 自社情報印字設定 ○ 住所／会社名／電話&FAX  
○ 会社名／住所／電話&FAX  
○ 会社名／電話&FAX  
● 自社情報印字なし

それぞれの項目を選択した場合の健康診断シートへの印字例は次ページを参照下さい。

## 【設定別の印字状態】

「自社情報印字なし」以外のいずれかを選択した場合、下記のような印字となります。  
尚、「自社情報印字なし」を選択した場合は空欄となります。

<p>「住所/会社名/電話&amp;FAX」選択時</p>	<p>東京都江東区東雲2-10-14 株式会社常陸自動車整備工場東雲店 TEL. 03-3527-6323 FAX. 03-3527-6324</p>
<p>「会社名/住所/電話&amp;FAX」選択時</p>	<p>株式会社常陸自動車整備工場東雲店 東京都江東区東雲2-10-14 TEL. 03-3527-6323 FAX. 03-3527-6324</p>
<p>「会社名/電話&amp;FAX」選択時</p>	<p>株式会社常陸自動車整備工場東雲店 TEL. 03-3527-6323 FAX. 03-3527-6324</p>

※「診断データ」の出力に当っては「自社情報印字なし」は選択しないで下さい。

## 手順3. 入力内容の登録

入力内容を確認後、「登録」をタップして完了して下さい。

← 自社情報設定

キャンセル 登録

自社情報

会社名 株式会社常陸自動車整備工場東雲店

電話番号 03-3527-6323

FAX 03-3527-6324

郵便番号 1350062

住所 東京都江東区東雲2-10-14

マンション・ビル名

自社情報印字設定

- 住所／会社名／電話&FAX
- 会社名／住所／電話&FAX
- 会社名／電話&FAX
- 自社情報印字なし

- 登録した内容を変更する以外は、都度、本手順の操作を行う必要はございません。
- 登録した内容を修正する場合は手順1を行い、登録情報を表示させた後、修正したい項目をタップするとキーボードが表示されますので、修正を行って下さい。

---

# ステップ2 車両情報登録



## ステップ2.車両情報登録について

- HDM-8000は健康診断シートや故障診断機能で保存したデータを再表示させる「索引」として、車検証に記載されている登録番号や車体番号を使用します。その為、車検証の記載情報を入力する「車両情報登録」を行う必要があります。
- 「車両情報登録」は下記2つの手順がございますので、状況に応じて、いずれかの手順を選択して下さい。
  - ①車検証に印刷されているQRコードを使用して車両情報を登録  
HDM8000のタブレット本体のカメラを使用してQRコードから車検証の記載情報を取り込み、車両情報を登録します。  
⇒17ページからの「手順A」を参照して下さい。
  - ②手入力で車両情報を登録  
HDM8000アプリのソフトウェアキーボードを使用して、車検証の記載情報を入力します。  
⇒25ページからの「手順B」を参照して下さい。

# 手順A

## 車検証のQRコードから取込み

# 手順A.車両情報の登録(車検証のQRコードから)

- (1) 車検証入れから車検証を取り出し、照明等がある明るい場所で、平面な場所に車検証を設置して下さい。車検証の準備が完了されましたら、画面上の新規車両をタップして下さい。



※1: 一時登録抹消証明書のQRコードからの取り込みには対応していません。

# 手順A.車両情報の登録(車検証のQRコードから)

## (2)車両情報の読取画面が起動します。



- 車両情報の取り込みを中断する場合や、車両情報の手入力を行う場合は、「戻る」ボタンをタップして下さい。
- 車両情報を手入力する場合の手順は28ページを参照して下さい。

## 手順A.車両情報の登録(車検証のQRコードから)

- (3)タブレット本体裏面のカメラのレンズを車検証に向けて、車検証の右下に印刷されているQRコードが画面の赤枠内に映る様、タブレットの位置を調節して下さい。



車輛によって赤枠内に入れるQRコードの数が異なります。次ページを参照下さい。

## 手順A.車両情報の登録(車検証のQRコードから)

### 【参考:車検証のQRコードについて】

車検証毎で読取りを行うQRコードの数が異なります。下記の①②を確認してからQRコードの読取りを行って下さい。

#### ①小型車から大型車までの車検証

車検証の右下に印刷されている8つのQRコードの内、中心寄りの5つのQRコードがタブレットの画面の赤枠内に入る様にしてください。



#### ②軽自動車の車検証

A)QRコードが3つの場合:3つのQRコードの全てを赤枠内に入れて下さい。

B)QRコードが6つの場合:右寄りの3つのQRコードを赤枠内に入れて下さい。



# 手順A.車両情報の登録(車検証のQRコードから)

(4)カメラのピントが合うと、下図の様に車検証の記載情報がQRコードから取り込まれます。

← 車両情報登録

キャンセル QRコード 登録

車両情報

登録番号 ※ 川崎501た1978

初度登録年月 2015年(平成27年)09月

メーカー ※ トヨタ

車種 ノア ハイブリッド 手入力

車台番号 ZWR80-0140072

型式 DAA-ZWR80G 車種検索

原動機型式 2ZR-5JM

- QRコードから HDM-8000に取り込まれる車検証の記載情報の内容について⇒45ページを参照下さい。
- 「車種」の候補が複数表示される場合の操作⇒46ページを参照下さい。
- 「入力されている型式に該当する車種が見つかりませんでした。」が表示される場合⇒47ページを参照下さい。
- 「メーカー」「車種」や、その他に取り込まれた情報の修正を行う場合⇒修正したい欄をタップして下さい。





## 手順A.車両情報の登録(車検証のQRコードから)

(6)「健康診断履歴」画面が表示されれば「車両情報登録」は終了です。



**58ページのステップ3へ進んで下さい。**

# 手順B 車検証情報を手入力

# 手順B.車両情報の登録(手入力)

(1)画面左上の「新規車両」をタップして下さい。



## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(2)QRコードからの読取画面が表示されましたら、「戻る」ボタンをタップして下さい。



## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(3)下図のメッセージが表示されたら、「閉じる」ボタンをタップして下さい。



## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(4)手入力での車両情報登録の画面が表示されます。30ページ以降の手順で、必要項目を入力して下さい。

The screenshot shows a mobile application interface for vehicle registration. At the top, there is a navigation bar with a back arrow, the title '車両情報登録', and a red car icon with a heart. Below the navigation bar are three buttons: 'キャンセル', 'QRコード', and '次へ'. A red dashed box highlights the 'キャンセル' and 'QRコード' buttons. Below this is a section titled '車両情報' with several input fields: '登録番号 ※', '初度登録年月 選択してください', 'メーカー ※ 選択してください', '車種 選択してください', '車台番号', '型式', and '原動機型式'. There are also two buttons: '手入力' and '車種検索'. The bottom of the screen shows a standard Android navigation bar.

- 「キャンセル」をタップすると26ページに掲載している「車両一覧」の画面に移動します。
- 「QRコード」をタップするとカメラが起動し、27ページに掲載している「QRコード」の読取画面に移動します。

## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(5)「登録番号 ※」をタップして、キーボードを表示させて、車両のナンバープレートの番号を入力して下さい。



## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(6)次に初年度登録を行います。画面をスクロールさせて、初年度登録の右にある「選択してください」をタップします。

①指で画面を上方向にスクロールさせて「初年度登録」を表示させます。

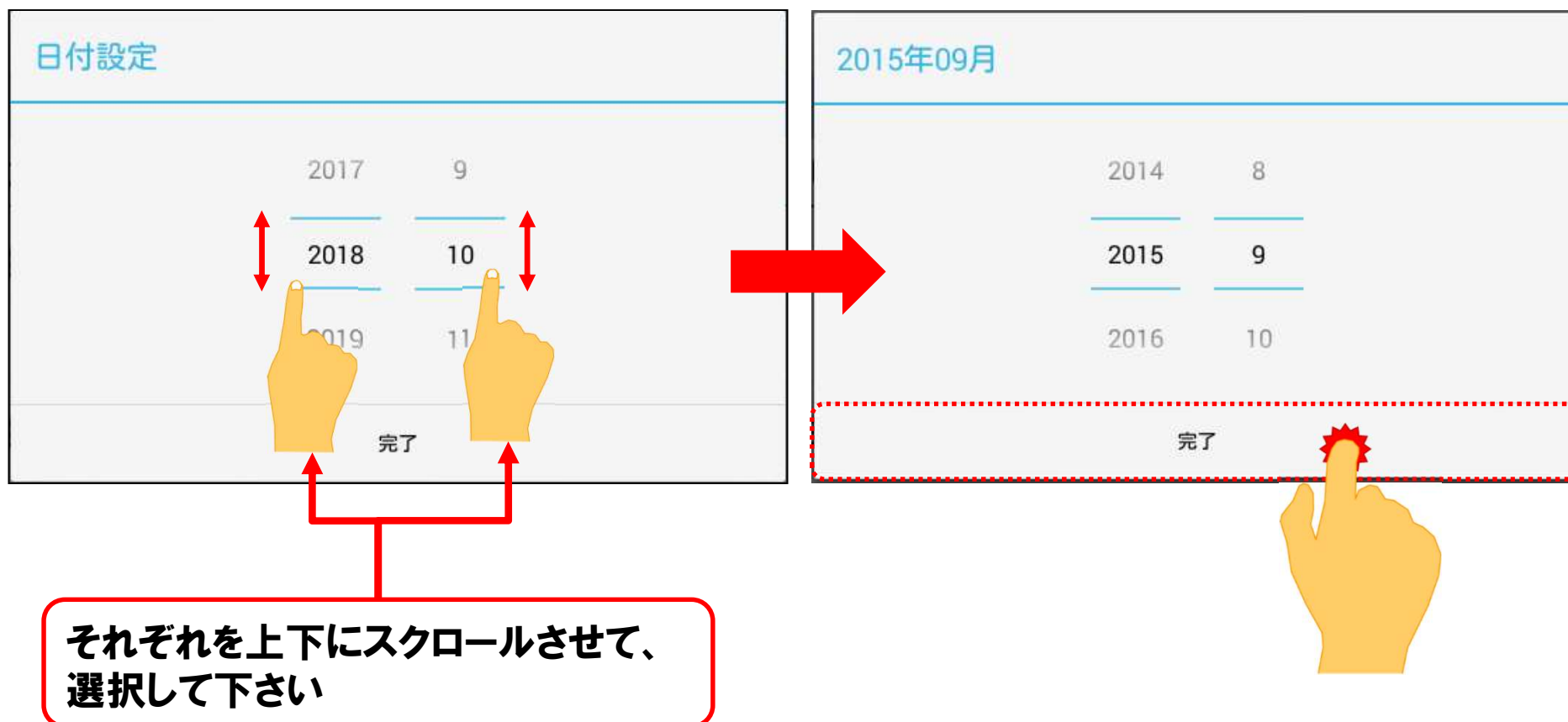


②「選択してください」をタップします。



## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(7)「日付設定」が表示されます。車両が新規登録された年(西暦)と月を選択し、最後に「完了」をタップして下さい。



## 手順B.車両情報の登録(手入力)

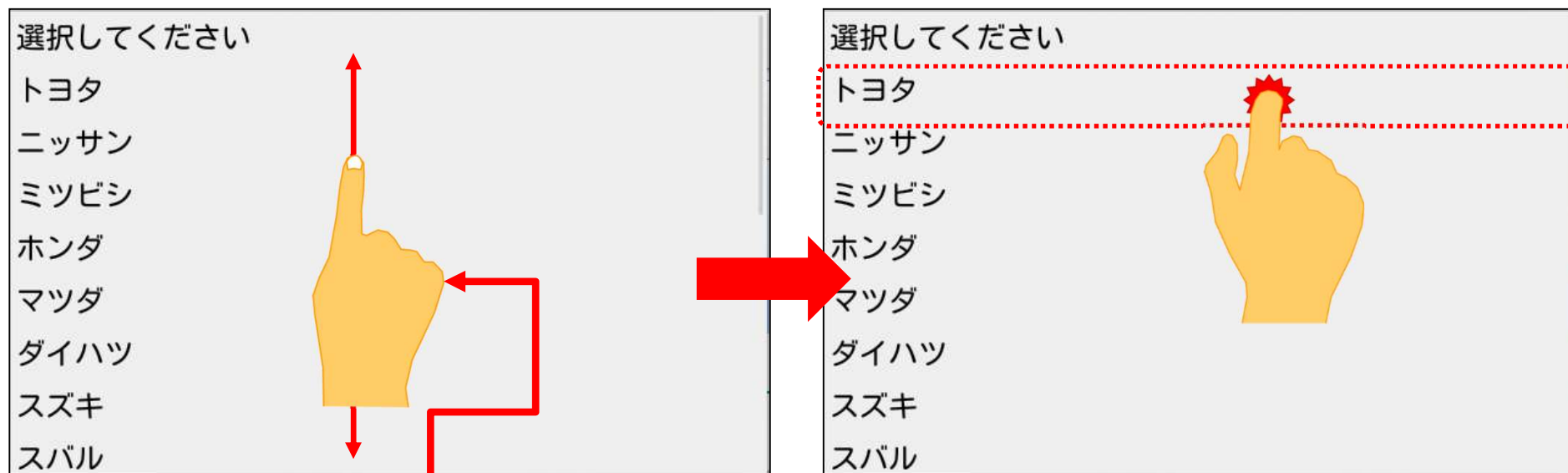
(8)初年度登録の入力が完了しましたら、メーカーと車種の入力に移ります。  
先ず、「メーカー※」の右の「選択してください」をタップして下さい。

The screenshot shows a mobile application interface for vehicle registration. At the top, there is a title bar with a back arrow and the text '車両情報登録', and a red car icon with a heart. Below the title bar are three buttons: 'キャンセル', 'QRコード', and '次へ'. The main content area is titled '車両情報' and contains several input fields: '登録番号※' with the value '川崎501た1978', '初年度登録年月' with the value '2015年(平成27年)09月', 'メーカー※' with the text '選択してください', '車種' with the text '選択してください', '車台番号', '型式', and '原動機型式'. A red dashed box highlights the 'メーカー※' field, and a yellow hand icon with a red starburst is pointing at it. To the right of the '車種' field is a '手入力' button, and to the right of the '型式' field is a '車種検索' button. The bottom of the screen shows the standard Android navigation bar.

- 登録番号、初年度登録年月の訂正を行いたい場合は、それぞれの入力欄をタップして下さい。その後、キーボードが表示されますので、訂正を行って下さい。
- 先に入車両型式を入力して、車両型式からメーカー名、車種名を検索して入力する方法もございます。53ページを参照下さい。

## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(9)自動車メーカーの選択リストが表示されます。入庫車両に合致する自動車メーカーをタップして選択して下さい。



- リストを上下させて、該当する自動車メーカーを表示させてください。
- HDM8000の診断ソフトが対応している自動車メーカー名を選択することが可能です。(欧州、トラックメーカーも含む)

## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(10)メーカーの入力が完了しましたら、車種名の入力に移ります。「車種」の右の「選択してください」をタップして下さい。

The screenshot shows a mobile application interface for vehicle registration. At the top, there are three buttons: 'キャンセル' (Cancel), 'QRコード' (QR Code), and '次へ' (Next). Below this is a section titled '車両情報' (Vehicle Information). The form contains several fields: '登録番号' (Registration Number) with the value '川崎501た1978', '初度登録年月' (First Registration Date) with '2015年(平成27年)09月', and 'メーカー' (Manufacturer) with 'トヨタ'. The '車種' (Vehicle Type) field is highlighted with a red dashed box and contains the text '選択してください'. A hand icon is shown tapping this field. To the right of the '車種' field is a '手入力' (Manual Input) button. Below the '車種' field are fields for '車台番号' (Chassis Number), '型式' (Model), and '原動機型式' (Engine Model). A '車種検索' (Vehicle Type Search) button is located to the right of the '型式' field. The bottom of the screen shows the standard Android navigation bar.

### 【補足】

- 次のページで表示するリストに該当する車種が無い場合は「手入力」ボタンをタップして、キーボードで車種名を入力して下さい。
- 「手入力」ボタンをタップすると表示が「マスタ選択」に切り替わります。「マスタ選択」をタップすると次ページのリストを表示することが出来ます。

## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(11)車種の選択リストが表示されます。リスト上から適合する車種を選択してタップすると車種名が入力されます。



この画面での操作の途中で、メーカー、車種の修正を行う場合は44ページの【補足1】の操作方法で修正を行って下さい

リストに該当する車種名が無い場合は「キャンセル」をタップし、「手入力」に切替えて入力して下さい。  
⇒操作方法は35ページの【補足】を参照下さい。

## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(12)車種の名称の入力が完了しましたら、「車体番号」の右にある空欄をタップして下さい。

← 車両情報登録

キャンセル QRコード 次へ

車両情報

登録番号 ※ 川崎501た1978

初度登録年月 2015年(平成27年)09月

メーカー ※ トヨタ

車種 ノア ハイブリッド

車台番号

型式

原動機型式

手入力

車種検索

## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(13) キーボードが画面に表示されますので、車検証に記載されている車台番号を入力して下さい。



## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(14)次に車両型式の入力を行います。画面をスクロールさせて「型式」の右の空欄をタップして、キーボードを表示させ、車両型式を入力して下さい。





## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(15)次に「原動機型式」を入力します。画面をスクロールさせて「原動機型式」の右の空欄をタップして、キーボードを表示させ、エンジン型式を入力して下さい。



## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(16)「※」がついている項目全ての入力が完了されましたら、画面をスクロールさせて「通知設定」でON、OFFのいずれかをタップして、最後に「次へ」をタップして下さい。



※通知設定をONに設定しておく、各部位の点検時期の到来を画面上に表示させることが可能です。

## 手順B.車両情報の登録(手入力)

(17)「健康診断履歴」画面が表示されれば「車両情報登録」は終了です。

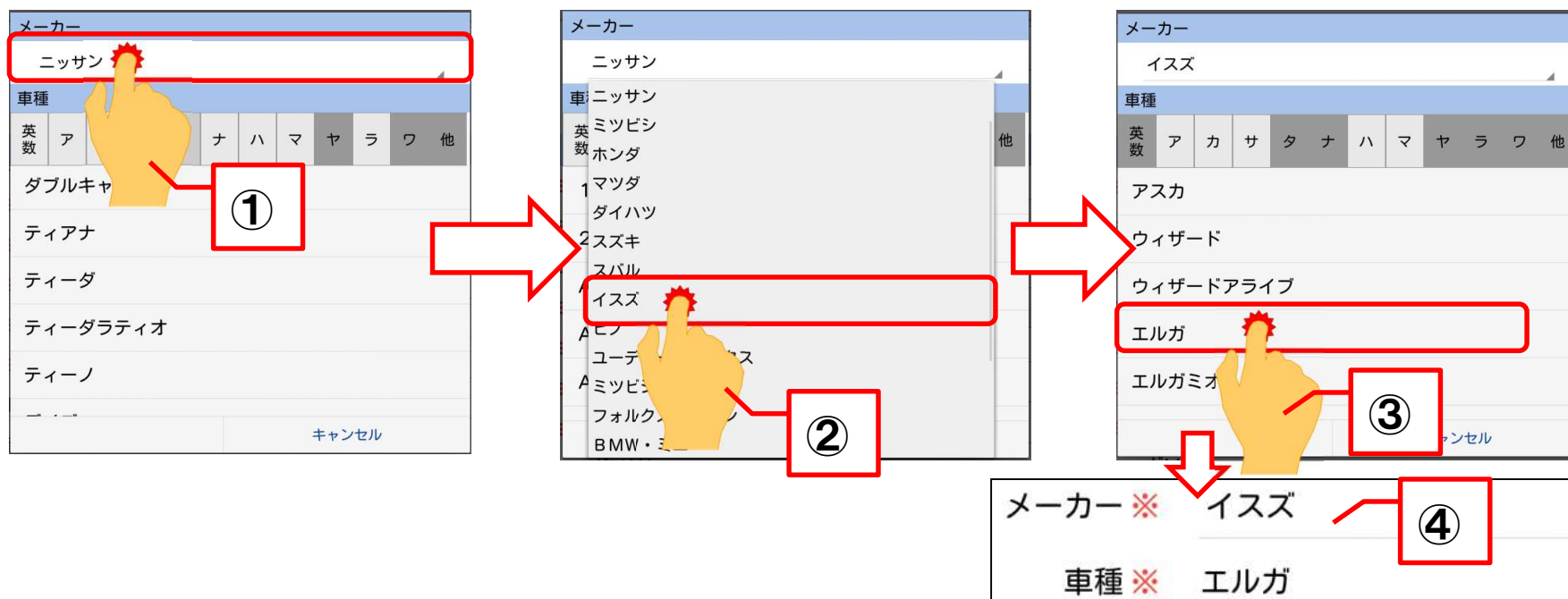


**58ページのステップ3へ進みます。**

# 車両情報入力に関する補足

## 【補足1】メーカー名と車種名の修正を行う場合

- ①車種リストの上部に表示されているメーカー名をタップしてください。
- ②メーカー名のリストが表示されます。表示されたメーカー名のリストから変更したいメーカー名をタップします。
- ③次に車種リストが表示されます。表示される車種名は②で選択されたメーカーが製造している車両に切り替わりますので、該当する車種名をタップして下さい。
- ④「車両情報登録」のメーカー名が修正されると共に、車種が入力されます。



## 【補足2】HDM-8000に取り込まれる車検証の記載情報

下図の情報が車検証のQRコードから読み込まれます。

車両情報	
登録番号	川崎501た1978
初度登録年月	2015年(平成27年)09月
メーカー	トヨタ
車種	ノア ハイブリッド
車台番号	ZWR80-0140072
型式	DAA-ZWR80G
原動機型式	2ZR-5JM
燃料の種類	ガソリン
型式指定番号	17698
類別区分番号	0001
期限満了日	2018年(平成30年)09月28日

HDM-8000の健康診断アプリ側に、  
予め車両型式に対応した「メーカー」  
「車種」が登録されている車両(※)  
であれば自動で入力されます。  
※平成10～28年6月に生産された  
国産乗用車メーカー8社で生産された  
乗用車となります。

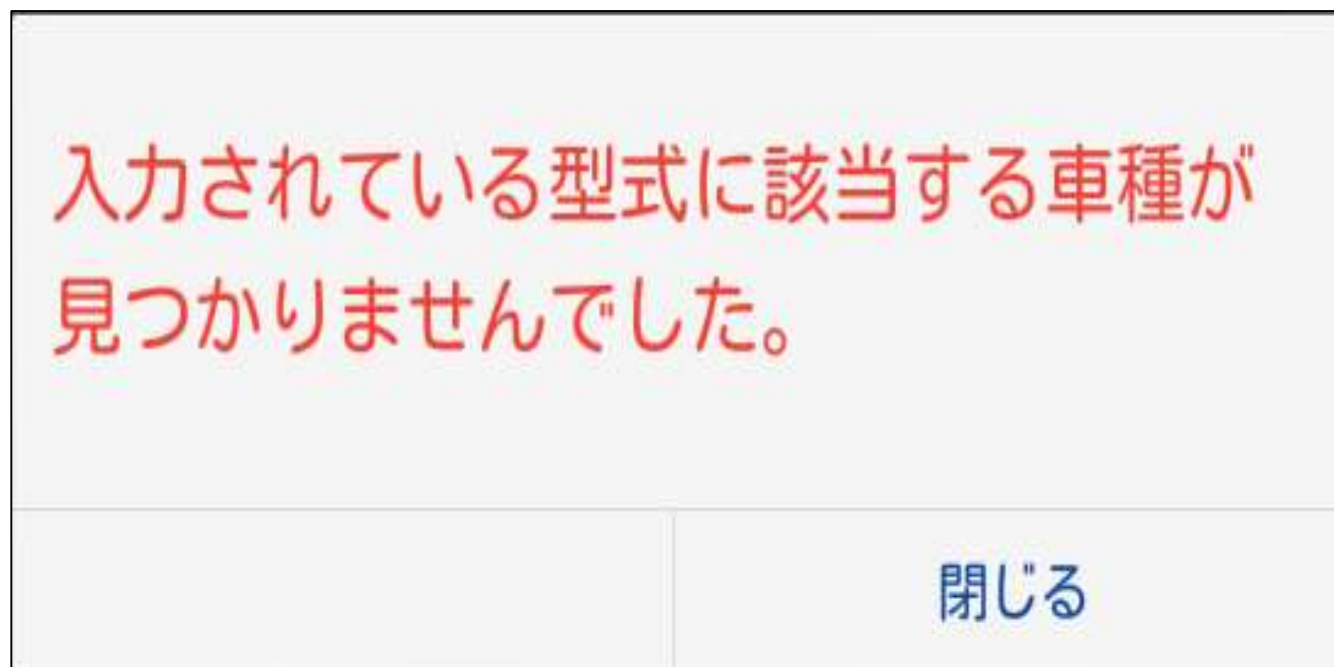
## 【補足3】車種の候補が複数表示される場合

QRコードの読取りを行った後、複数の「車種」の候補が表示される場合がございます。表示されているメッセージの内容に沿って、合致する車種名をタップして下さい。

車種選択	
下記の候補から車種を選択してください。 在庫車種と合致する車種が候補に無い場合は 「閉じる」をタップし、手入力を行ってください。	
トヨタ：ヴォクシー ハイブリッド	
トヨタ：エスクワイア ハイブリッド	
トヨタ：ノア ハイブリッド	
	閉じる

## 【補足4】入庫車両に該当する「車種」が無い場合。

- 「入力されている型式に該当する車種が見つかりませんでした。」というメッセージが表示される場合、「閉じる」をタップして、手入力を行って下さい。
- 車種を手入力する際の操作は48～52ページを参照して下さい。





## 【補足4】入庫車両に該当する「車種」が無い場合。

(1)画面上の「メーカー」の右にある「選択してください」をタップして下さい。

← 車両情報登録

キャンセル QRコード 登録

車両情報

登録番号 ※ 川崎501た1971

初度登録年月 2015年(平成27年)09月

メーカー ※ 選択してください

車種 選択してください

車台番号 ZVW80-0140072

型式 D A A-ZWR80G

原動機型式 2ZR-5JMm

手入力

車種検索

## 【補足4】入庫車両に該当する「車種」が無い場合。

(2)メーカーの選択リストが表示されます。リスト上の該当するメーカー名をタップすると、タップしたメーカーが車両情報として入力されます。

The screenshot shows a mobile application interface for vehicle registration. The title bar at the top left says "← 車両情報登録". The main form has several fields: "登録番号 ※", "初度登録年月", "メーカー ※", "車種 選択してください", "車台番号", "型式", and "原動機型式". A dropdown menu is open over the "メーカー ※" field, listing various manufacturers: ニッサン, ミツビシ, ホンダ, マツダ, ダイハツ, スズキ, スバル, イスズ, and ヒノ. A hand icon is shown tapping on "ニッサン", which is highlighted with a red box. The "メーカー ※" field in the form below also contains "ニッサン" and is highlighted with a red box. To the right of the form, there are buttons for "登録", "手入力", and "車種検索". The status bar at the top right shows the time as 15:03.

## 【補足4】入庫車両に該当する「車種」が無い場合。

(3)画面上の「車種」の「選択してください」をタップして下さい。

← 車両情報登録

キャンセル QRコード 登録

車両情報

登録番号 ※ 川崎501た1971

初度登録年月 2015年(平成27年)09月

メーカー ※ ニッサン

車種 選択してください

手入力

車台番号 ZVW80-0140072

型式 D A A-ZWR80G

車種検索

原動機型式 2ZR-5JMm

## 【補足4】入庫車両に該当する「車種」が無い場合。

(4)車種の選択リストが表示されます。リスト上から適合する車種を選択してタップすると車種名が入力されます。

①入庫車両の車種名に該当する行をタップします。

②行毎の車種名リストが表示されますので、入庫車両に適合した車種名をタップして下さい。

キャンセル

この画面での操作の途中で、メーカー、車種の修正を行う場合は44ページの【補足1】の操作方法で修正を行って下さい

リストに該当する車種名が無い場合は「キャンセル」をタップし、「手入力」に切替えて入力して下さい。  
⇒操作方法は35ページの補足を参照下さい。

## 【補足4】入庫車両に該当する「車種」が無い場合。

(5) メーカー名と車種の入力が完了したら「次へ」をタップして下さい。

← 車両情報登録

キャンセル QRコード 次へ

車両情報

登録番号 ※ 川崎501た1971

初度登録年月 2015年(平成27年)09月

メーカー ※ ニッサン

車種 ティーダラティオ 手入力

車台番号 ZVW80-0140072

型式 D A A-ZWR80G 車種検索

原動機型式 2ZR-5JMm

- 「メーカー」「車種」を修正する場合は、それぞれの項目をタップするとリストが表示されますので、修正を行って下さい。
- 「キャンセル」をタップすると26ページに掲載している「車両一覧」の画面に遷移し、取込みした車両情報も消去されます。
- 「QRコード」をタップするとカメラが起動し、27ページに掲載している「QRコード」の読取画面に遷移します。
- 「QRコード」の読取画面に遷移した後、画面下の「戻る」ボタンを押すと、上掲の画面に戻ることが可能です。
- 「QRコード」の読取画面に遷移した後、QRコードの読取りを実行すると「メーカー」「車種」以外の情報が上書きされます。

## 【補足5】先に型式を入力してメーカー・車種を自動入力する方法

(1) 「型式」の右側の空欄をタップして下さい。



車両情報登録

キャンセル QRコード 次へ

車両情報

登録番号 ※

初度登録年月 選択してください

メーカー ※ 選択してください

車種 選択してください 手入力

車台番号

型式 車種検索

原動機型式

## 【補足5】先に型式を入力してメーカー・車種を自動入力する方法

- (2) キーボードが表示されましたら、車検証の「型式」欄に記載されている車両型式を半角で入力して下さい。



## 【補足5】先に型式を入力してメーカー・車種を自動入力する方法

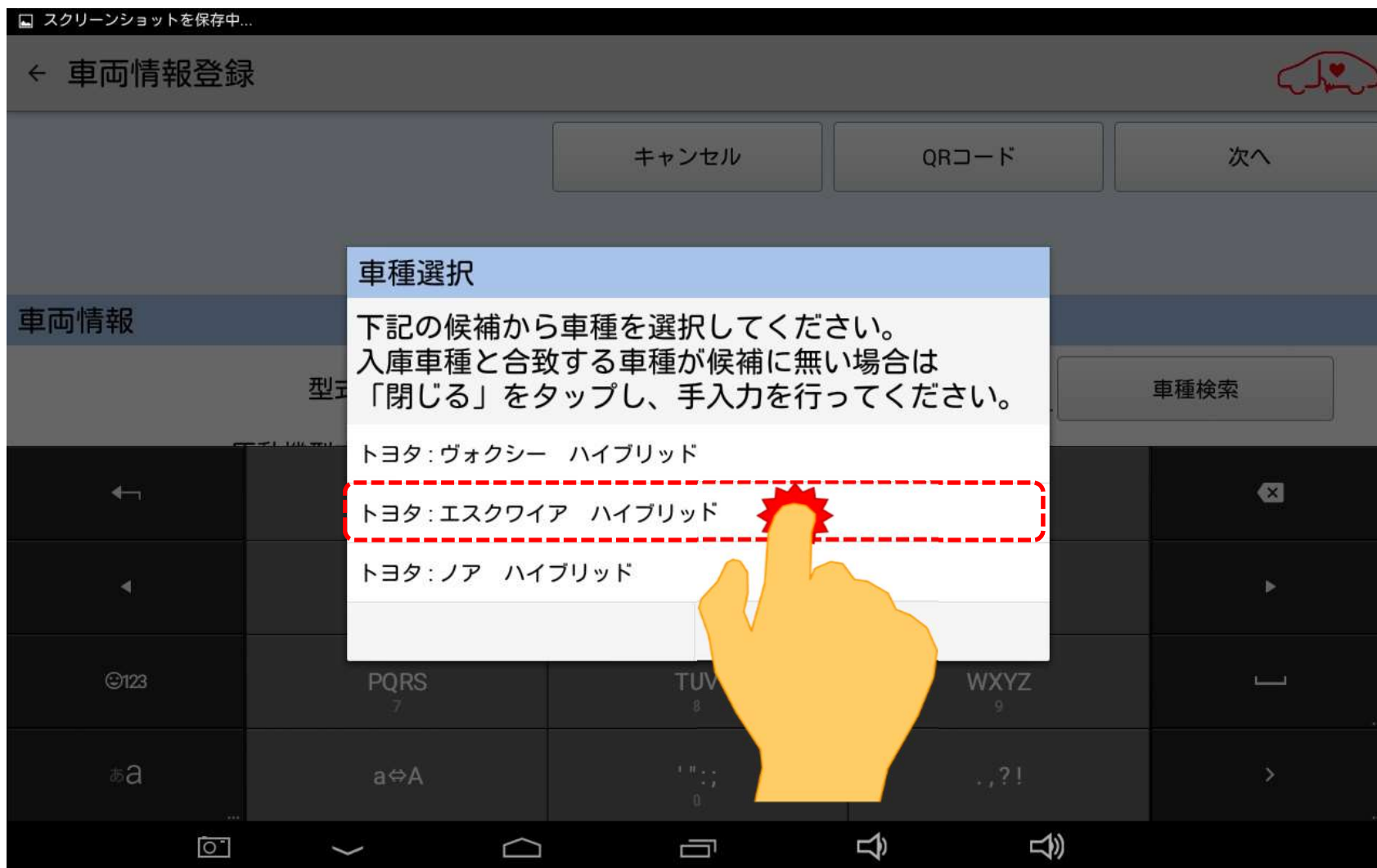
(3) 車両型式の入力が完了されましたら「車種検索」をタップして下さい。





## 【補足5】先に型式を入力してメーカー・車種を自動入力する方法

(4) 入力した車両型式によっては画面上に「車種選択」が表示されます。表示されている候補のなかから入庫車両の合致する車種名ををタップして下さい。



## 【補足5】先に型式を入力してメーカー・車種を自動入力する方法

(5)画面下のキーボードの格納ボタンをタップして下さい。



(6)メーカーと車種名が正しく入力されたか確認して下さい。



← 車両情報登録

キャンセル QRコード 次へ

車両情報

登録番号 ※

初度登録年月 選択してください

メーカー ※ トヨタ

車種 エスクワイア ハイブリッド 手入力

車台番号

型式 DAA-ZWR80G 車種検索

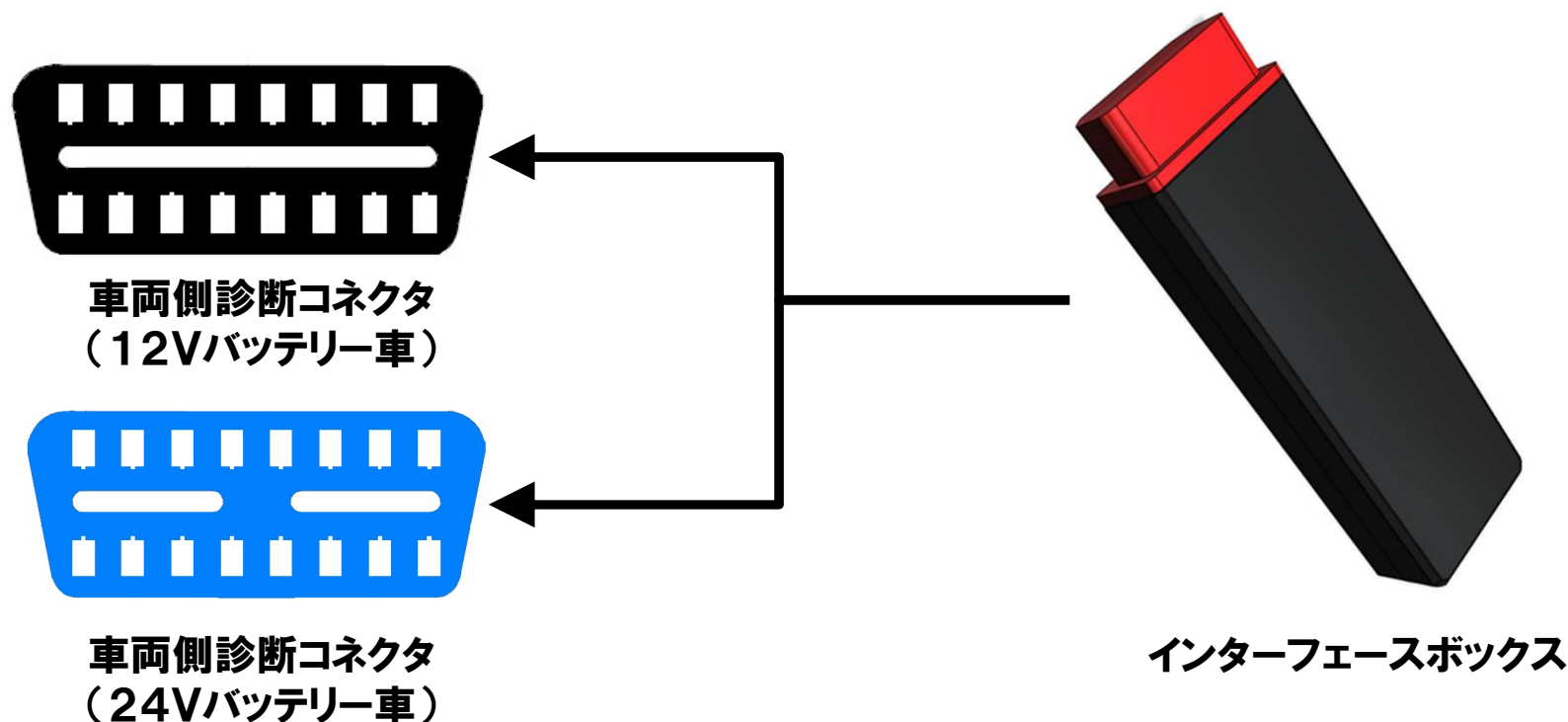
原動機型式

---

# ステップ3 全DTC点検の実行

# 手順1.車両へのインターフェースボックスの接続

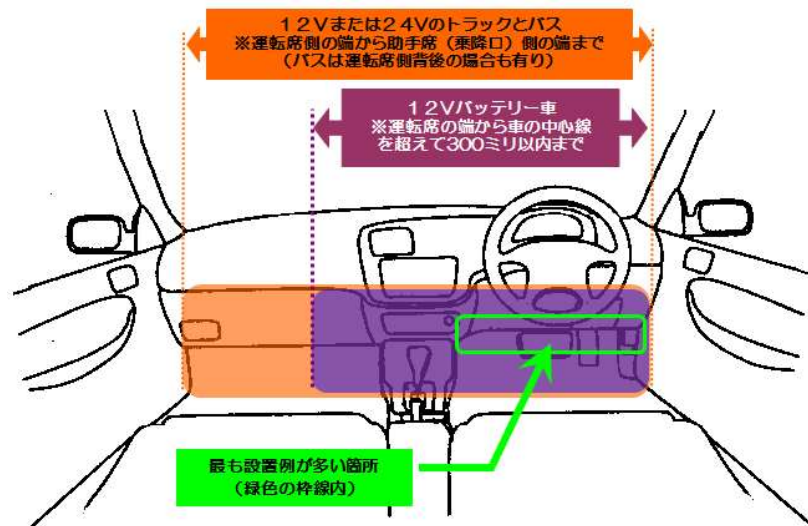
- (1)インターフェースボックスの赤色のコネクタを、車室内の診断コネクタに接続して下さい。(別売の延長ケーブルを使用することも可能です。次ページ参照)
- (2)インターフェースボックスのLEDが緑色に点灯することを確認して下さい。
- (3)エンジンを始動して下さい。



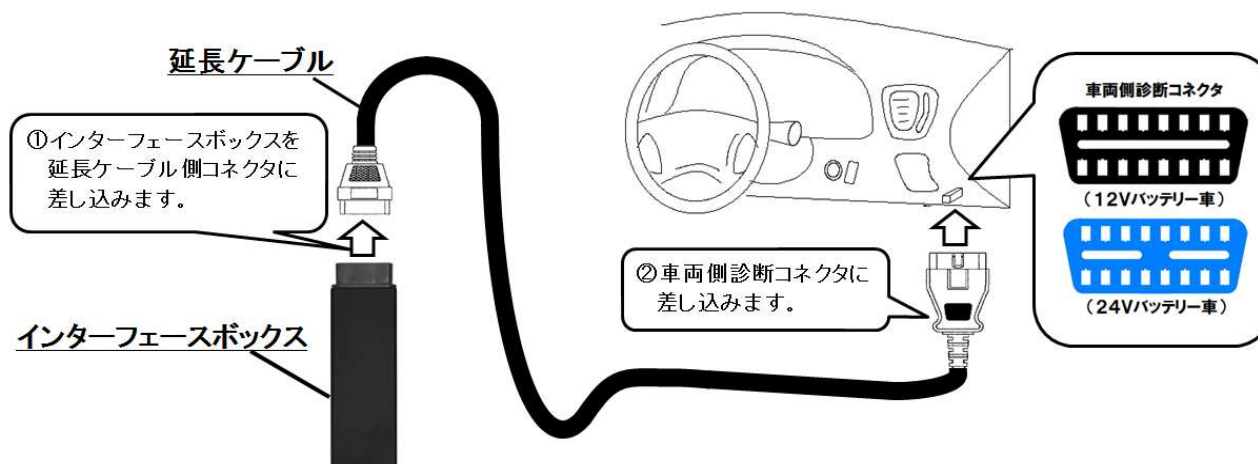
- ※1:車両によって車両側診断コネクタの色は異なります。
- ※2:車両側診断コネクタの一般的な取付位置は次ページを参照下さい。
- ※3:07年頃までに発売されたいすゞ・エルフの場合、別売の電源ケーブルが必要です。

# 手順1.車両へのインターフェースボックスの接続

## 【補足①】一般的な車両側診断コネクタの取付位置



## 【補足②】延長ケーブルの使用イメージ



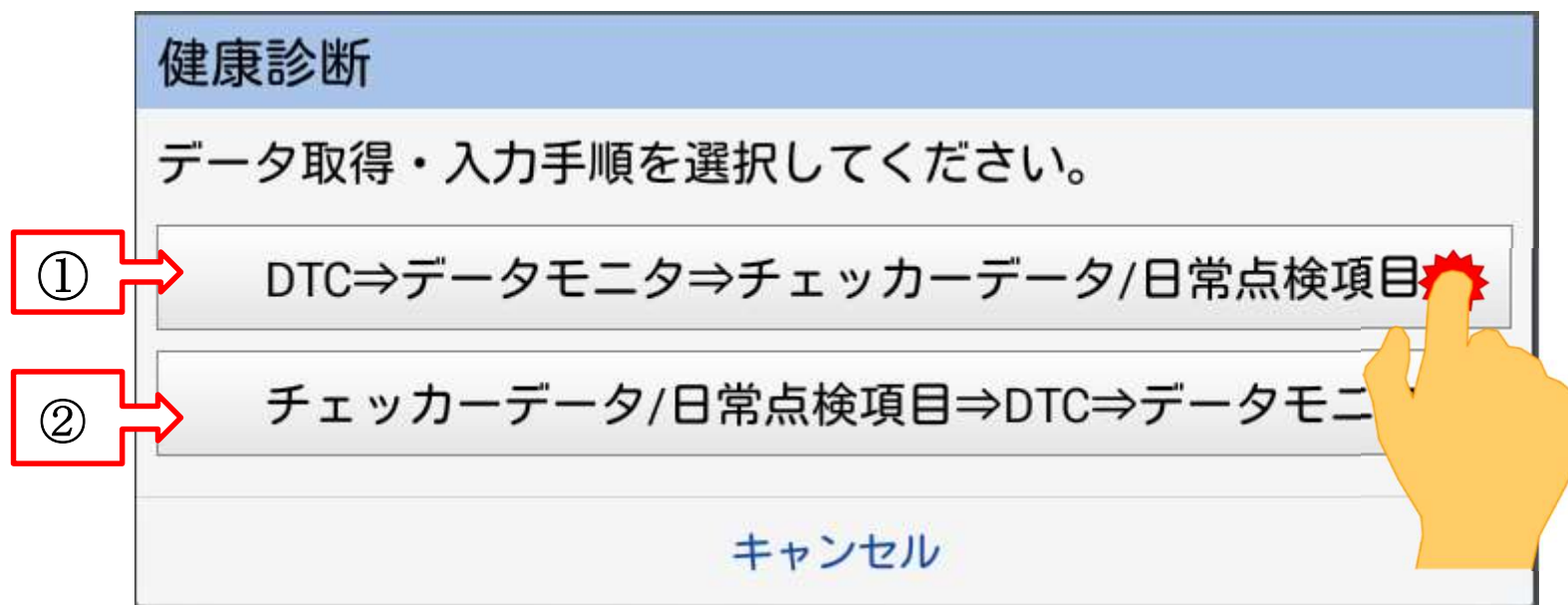
## 手順2.全DTCの実行(例:トヨタソフト)

(1) 「健康診断履歴」の左下にある「新規作成」をタップします。



## 手順2.全DTCの実行(例:トヨタソフト)

(2) 「健康診断」が表示されます。①の方をタップして下さい。



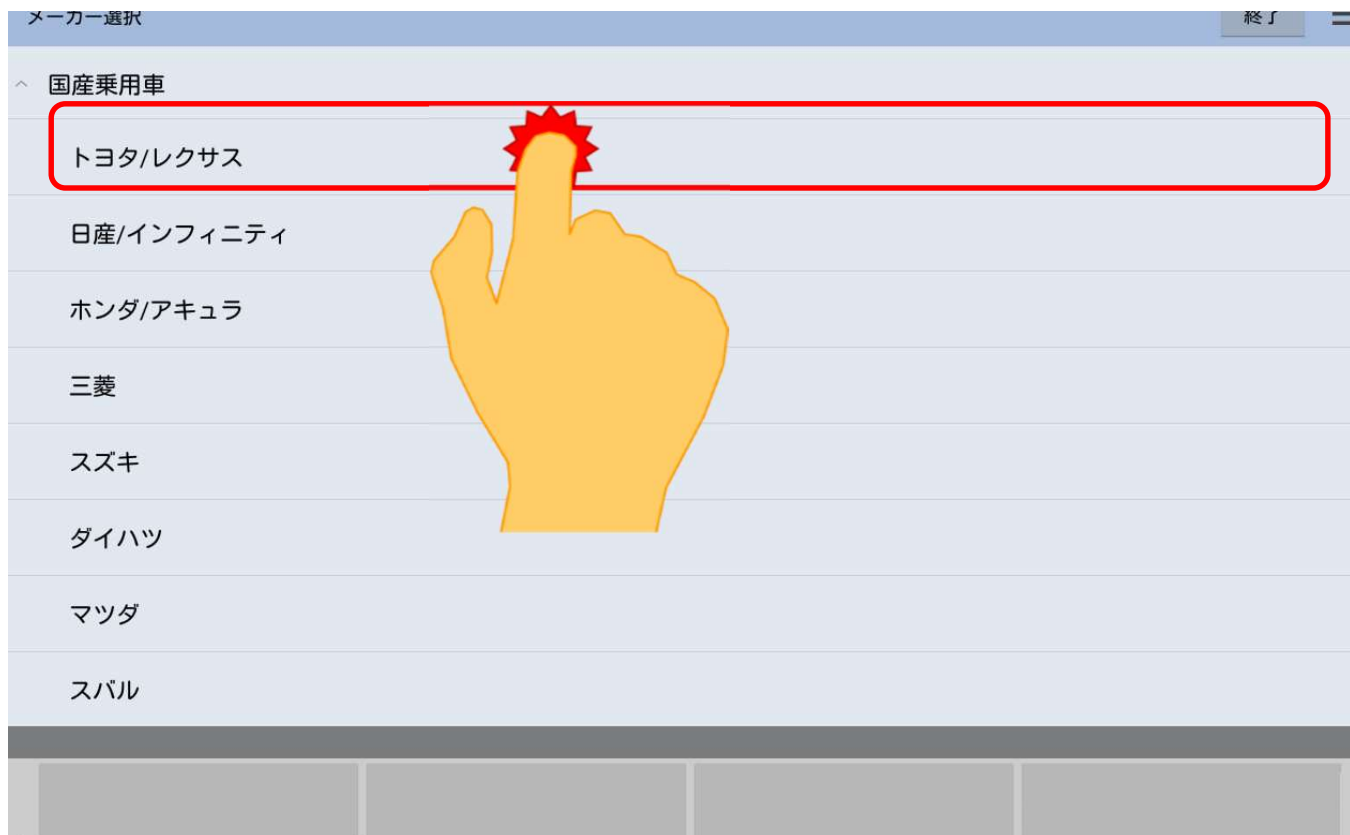
①をタップした場合	最初にHDM8000の診断ソフトによる全自己診断とデータモニタによる点検が始まります。次ページ以降の手順を参照して下さい。
②をタップした場合	専用チェッカーによる点検結果の入力から、健康診断シートの作成を行います。 <b>(※「診断データ」作成時はタップしないで下さい)</b>

## 手順2.全DTCの実行(例:トヨタソフト)

(3) 「接続中 しばらくお待ち下さい」が表示されます。

接続中....  
しばらくお待ちください

(4) 「メーカー選択」が表示されます。在庫車両に該当するメーカーをタップして下さい。





## 手順2.全DTCの実行(例:トヨタソフト)

- (5) 「アプリケーション起動中しばらくお待ちください」と表示された後、診断ソフト名が表示されます。その後、「しばらくお待ちください」と表示された後、車種選択画面が表示されます。(ソフトにより画面の遷移が異なります)。



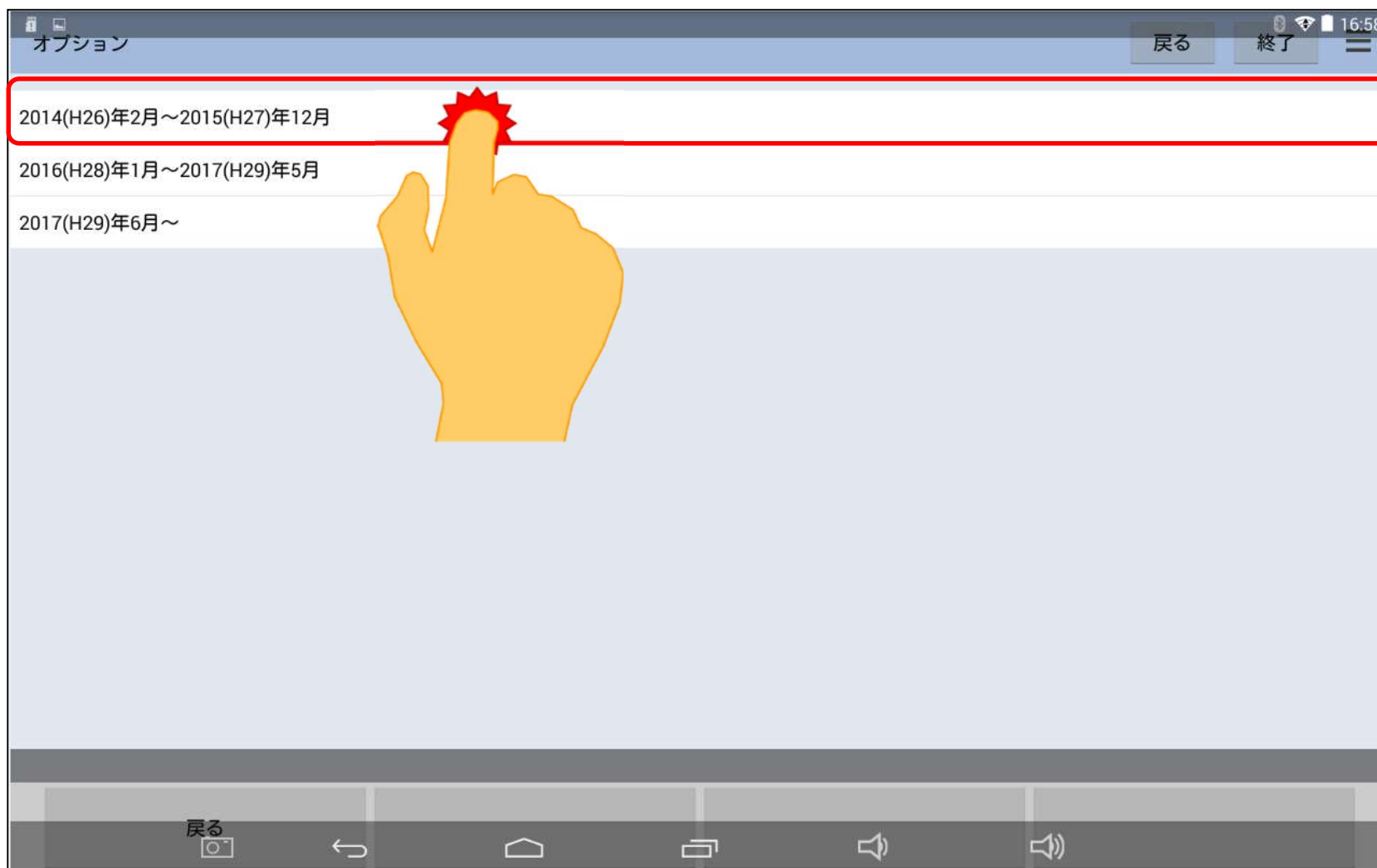
## 手順2.全DTCの実行(例:トヨタソフト)

(6)「イニシャライズ中」が表示されますので、しばらくお待ちください。

イニシャライズ中...  
しばらくお待ち下さい

## 手順2.全DTCの実行(例:トヨタソフト)

(7)年式選択画面が表示されます。初年度登録日を参考に、該当する年式を選択して下さい。



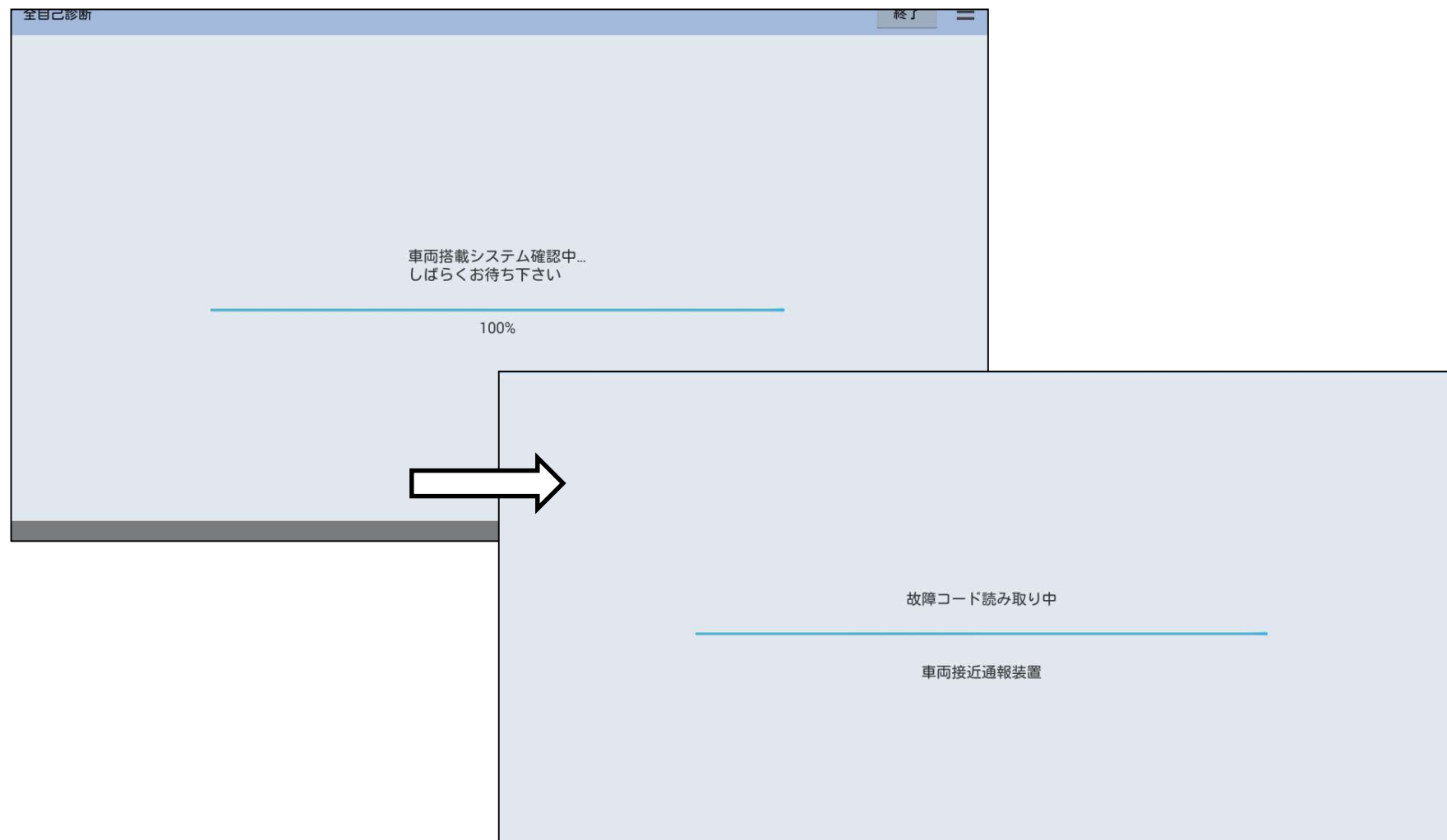
## 手順2.全DTCの実行(例:トヨタソフト)

(8)下図のメッセージが表示されましたら、画面左下の「次へ」をタップして下さい。



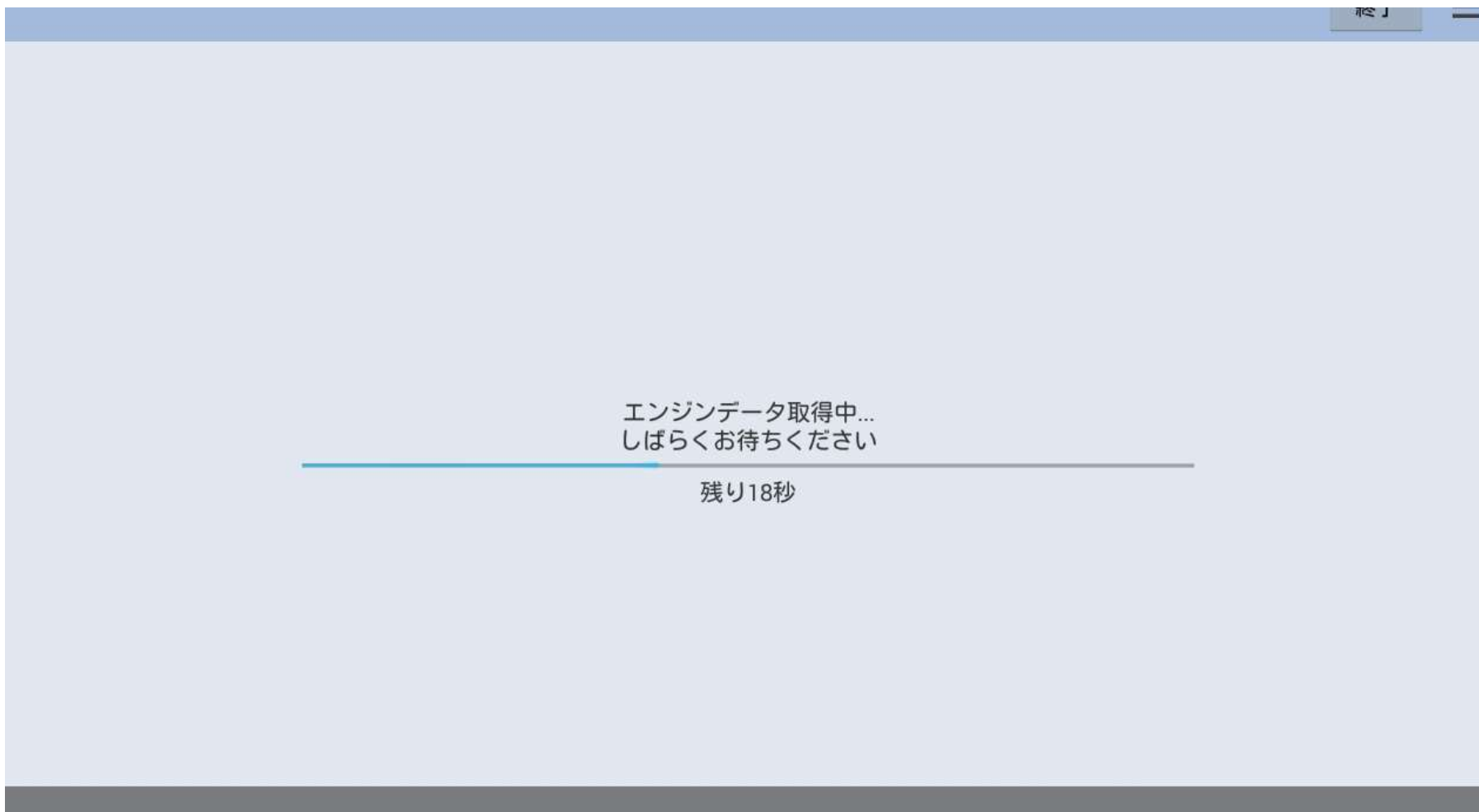
## 手順2.全DTCの実行(例:トヨタソフト)

- (9)画面が「車両搭載システム確認中」から「故障コード読み取り中」に遷移します。  
次の画面が表示されるまで、お待ち下さい。



## 手順3.エンジンデータ取得(例:トヨタソフト)

- (1)「エンジンデータ取得中」の画面が30秒間表示されます。次の画面が表示されるまで、お待ち下さい。



# 手順3.エンジンデータ取得(例:トヨタソフト)

(2)「健康診断シート作成」が表示され、全DTCの点検結果が表示されます。

スクリーンショットを保存中...

← 健康診断シート作成 

整備簿	全DTC	データモニタ	チェッカー	カメラ	メモ	コメント
-----	------	--------	-------	-----	----	------

再点検 最終点検実行 カメラ撮影 印刷 保存

走行距離

走行距離  km

点検内容	1次点検	対応	最終点検
全DTC			
ステアリングシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
エンジンシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
エアコンシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
メーターシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
パワーウィンドウ/ドアコントロールシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

## 手順4.走行距離の入力と日常点検項目の消去

- (1) 車両側のオドメータに表示されている走行距離(入庫当日の走行距離)を、画面上の走行距離の欄に入力して下さい。





## 手順4.走行距離の入力と日常点検項目の消去

- (2) 走行距離(入庫当日の走行距離)の入力が完了されましたら、キーボードの格納ボタンを押して、キーボードを消去します。



## 手順4.走行距離の入力と日常点検項目の消去

(3) 画面を上方向にスクロールして「日常点検」を表示させて下さい。

健康診断シート作成

整備簿 全DTC データモニタ チェッカー カメラ メモ コメント

再点検 最終点検実行 カメラ撮影 印刷 保存

走行距離

走行距離 269136 km

点検内容	1次点検	対応	最終点検
タイヤの溝の深さ、異常な摩耗			
ブレーキの残量			
日常点検	未入力 13件		
<input checked="" type="checkbox"/> ブレーキフルードの液量			
<input checked="" type="checkbox"/> タイヤの空気圧			
<input checked="" type="checkbox"/> タイヤの亀裂、損傷			

## 手順4.走行距離の入力と日常点検項目の消去

- (4) 「日常点検」の各項目の左にあるチェックマーク(  )をタップしてグレーに反転させて、項目の非表示設定を行って下さい。

スクリーンショットを保存中...

← 健康診断シート作成 

整備簿	全DTC	データモニタ	チェッカー	カメラ	メモ	コメント
-----	------	--------	-------	-----	----	------

再点検 最終点検実行 カメラ撮影 印刷 保存

走行距離

走行距離  km

点検内容

	1次点検	対応	最終点検
 ブレーキフルードの液量			
タイヤの空気圧	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
タイヤの亀裂、損傷	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バッテリー液の量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 冷却水の量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> エンジンオイルの量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



## 手順4.走行距離の入力と日常点検項目の消去

(5) 更に画面を上方向にスクロールさせて、前のページの(4)の操作手順で「日常点検」の全項目をグレーに反転させて下さい。(全15項目)



- 日常点検の項目の非表示設定(グレーへの反転)は、一旦設定すると、他の車両の健康診断シート作成にも反映されます。
- 非表示設定は再度タップすると、設定が表示に切り替わります。

## 手順4.走行距離の入力と日常点検項目の消去

### (6) 最後に保存ボタンを押してチェック結果を保存して下さい。



## 手順4.走行距離の入力と日常点検項目の消去

(7)健康診断履歴の画面が表示されます。終了する場合は画面下の戻るボタンを押して下さい。PDFによる診断データ作成を行う場合はステップ4(79ページ)へ進めて下さい。

健康診断履歴			
トヨタ	ノア	ハイブリッド	
川崎501た1978	ZWR80-0140072		
前回の健康診断履歴			
2018/10/19 17:00	健康診断シート作成		
走行距離	26913	km	
点検内容	1次点検	対応	最終点検
全DTC			
ステアリングシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
エンジンシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
エアコンシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
メーターシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
健康診断シートを保存しました			
新規作成	通知設定	履歴詳細	

- 一旦、タブレットの電源をOFFする等、HDM8000の使用を中断した後、保存した健康診断シートのデータを再表示させたい場合は、95～100ページの手順でタイムラインを操作し、「健康診断シート」をタップして再表示させて下さい。
- エクセル形式による診断データ作成を行う場合は92ページからのステップ5をご参照下さい。

---

# ステップ4

## 診断データの出力

### （健康診断シート/PDFによる出力）

# 手順1. PDFによる健康診断シートの出力

(1)健康診断履歴の画面右下の「履歴詳細」をタップします。





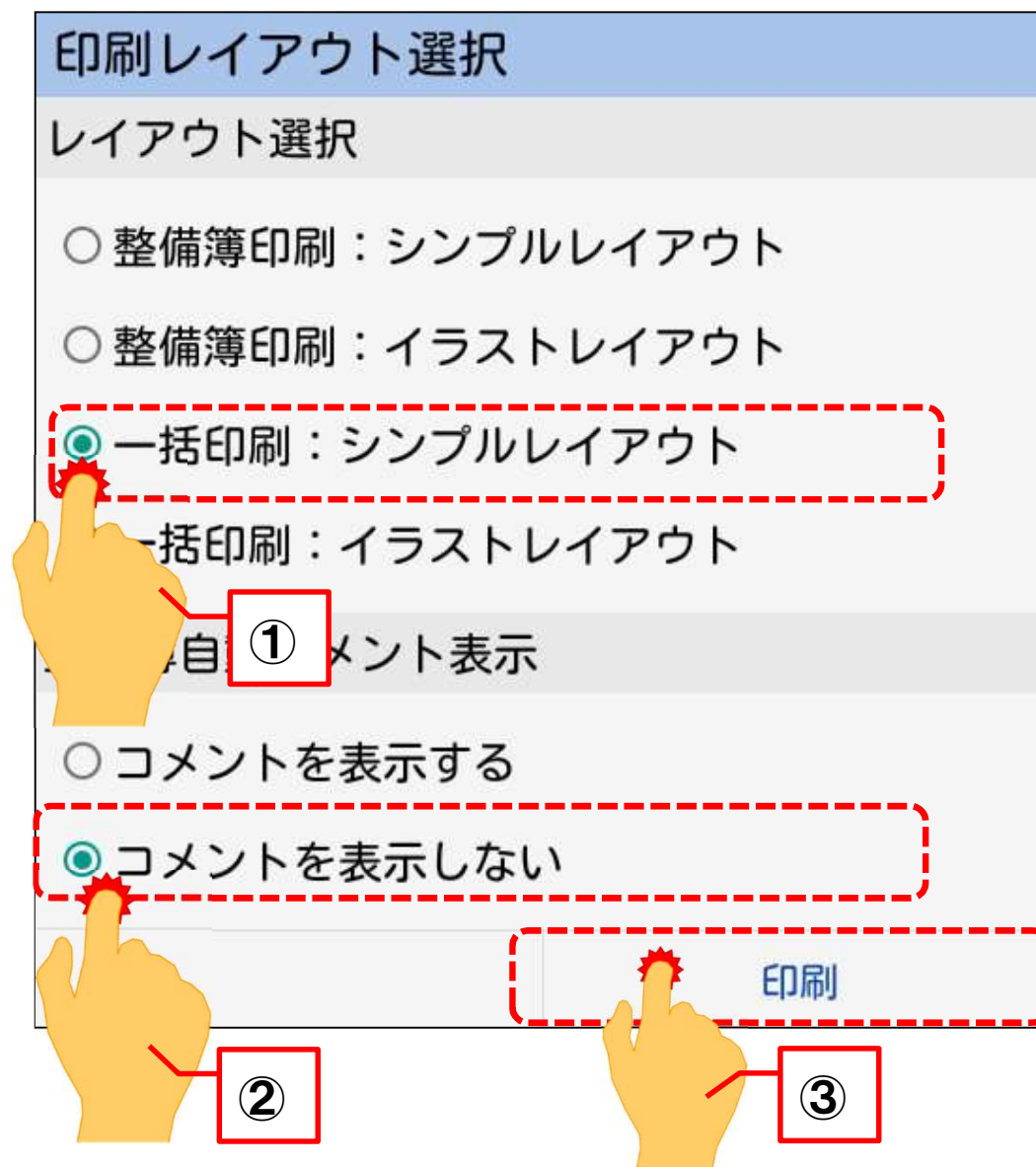
# 手順1. PDFによる健康診断シートの出力

(2)「健康診断シート作成画面」が表示されますので「印刷」ボタンをタップします。



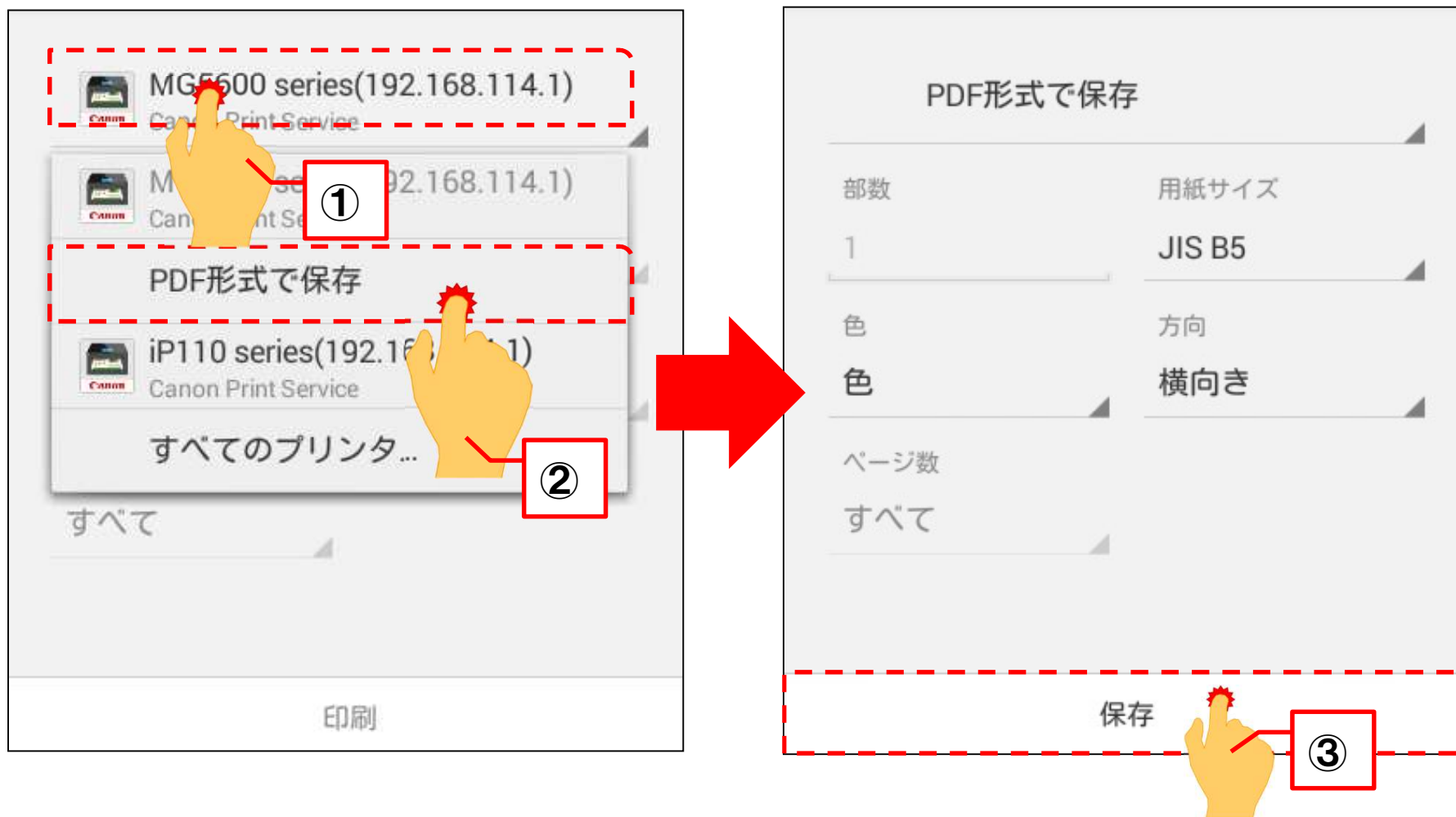
# 手順1. PDFによる健康診断シートの出力

(3)「印刷レイアウト選択」が表示されます。  
レイアウト選択で「シンプルレイアウト」を選択し、次に「整備簿自動コメント表示」で「コメントを表示しない」をタップして選択し、最後に「印刷」をタップします。



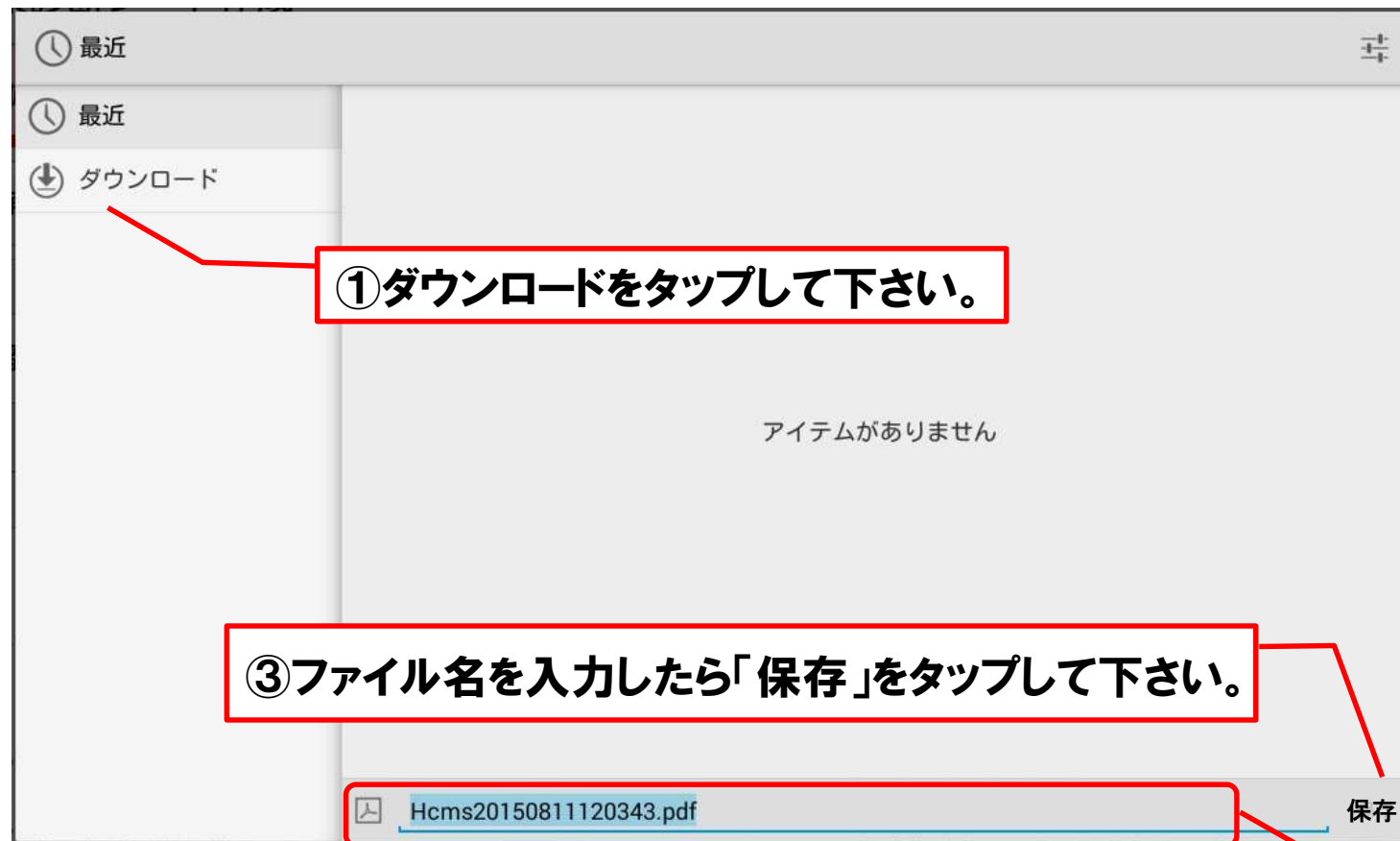
# 手順1. PDFによる健康診断シートの出力

(4) プリンタ選択画面が表示されます。画面をタップして「PDF形式で保存」を選択するとすると画面が切り替わるので、画面下部の「保存」をタップしてください。



# 手順1. PDFによる健康診断シートの出力

(5)以下の画面が表示されます。画面右下の「保存」をタップしてください。



②手順1の(4)を実行時にファイルに付けられる名称です。ファイル名をタップしてキーボードを呼び出し、診断実行日、車両の登録番号に変更すると管理が行い易くなります。(例:20170901\_川崎300ら5668)

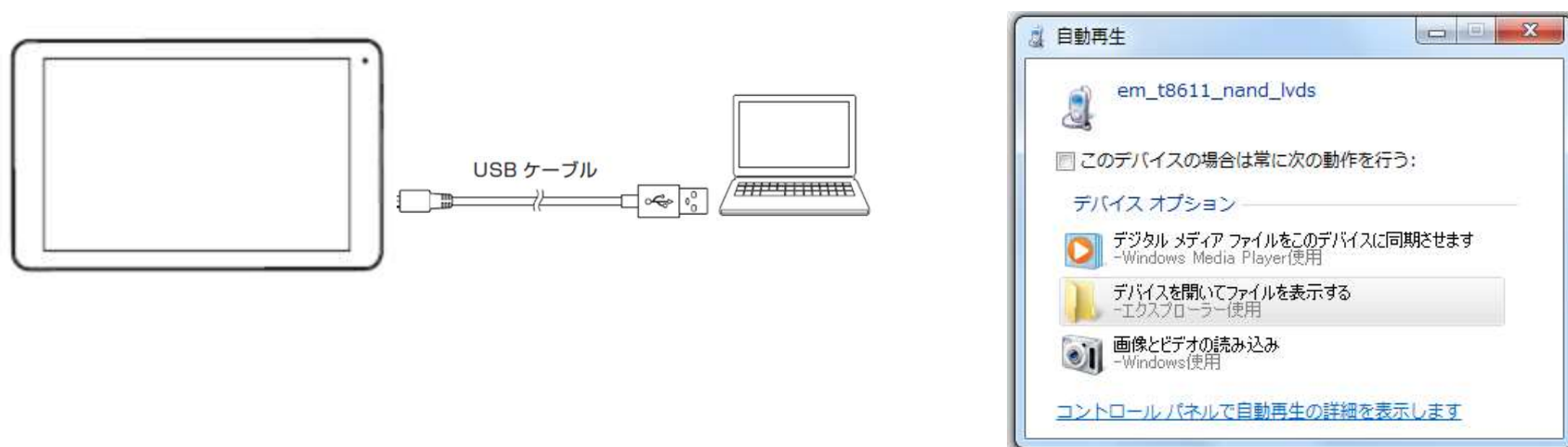
# 手順1. PDFによる健康診断シートの出力

(6)「保存」が終了すると「健康診断シート作成」画面に戻ります。前の画面に戻る場合は、画面の左上の矢印か画面下の「戻る」ボタンをタップして下さい。

点検内容	1次点検	対応	最終点検
全DTC			
エンジンシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="radio"/>
エアバックシステム	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="radio"/>
データモニタ			
エアフローセンサの状態	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	<input type="radio"/>
チェッカー			未入力 0件
イグニッションコイルの状態			

## 手順2. PDF化した健康診断シートの取り出し

- (1) タブレットの電源を入れてから、付属のUSBケーブルでPCとタブレットを接続して下さい。「自動再生」が表示されましたら「デバイスを開いてファイルを表示する」をクリックします。



- (2) 次に表示された「USBストレージ」をクリックすると、各フォルダが表示されます。「Download」のフォルダをクリックして開き、保存された健康診断シートのファイルを取り出します。



# 手順2. PDF化した健康診断シートの取り出し

(3)健康診断シートのPDFファイルをPCから取り出したら、PCKK殿に提出して下さい。

**健康診断シート**

お客様名： \_\_\_\_\_ 登録番号： 横浜301の5163 車種： R X - 8  
 健康診断日： 2015/08/15 走行距離： 94666km 型式： LA-SE3P

神奈川県川崎市川崎区富士見1-6-3  
 139  
 日立オートパーツ&サービス  
 TEL. 999-999-9999 FAX. 999-999-9999

■エンジン・ルーム点検

【パワー・ステアリング】

ステアリングシステム

【エンジン】

エンジンシステム

■室内点検

メーターシステム

■足廻り点検

【ブレーキ・ディスク・ドラム】

ブレーキシステム

■安全装置点検

エアバックシステム

**健康診断シート**

お客様名： \_\_\_\_\_ 登録番号： 横浜301の5163 車種： R X - 8  
 健康診断日： 2015/08/15 走行距離： 94666km 型式： LA-SE3P

神奈川県川崎市川崎区富士見1-6-3  
 139  
 日立オートパーツ&サービス  
 TEL. 999-999-9999 FAX. 999-999-9999

【全DTC】

1次点検の結果				最終点検の結果			
点検内容	システム名	故障コード	内容	点検内容	システム名	故障コード	内容
ステアリングシステム	電動パワステ	U1900	CANシステム通信エラー	ステアリングシステム	電動パワステ	U1900	CANシステム通信エラー
エンジンシステム	エンジン	U0073	コントローラエリアネットワークコミュニケーションエラー	エンジンシステム	エンジン	U0073	コントローラエリアネットワークコミュニケーションエラー
	エンジン	P0076	インテリゲンチブコントロール回路低入力(バンク1)		メーターシステム	メータ	U1900
メーターシステム	メータ	U1900	整備書で確認して下さい	ブレーキシステム	ABS	U1900	CAN コミュニケーションエラー
ブレーキシステム	ABS	U1900	CAN コミュニケーションエラー	エアバックシステム	エアバッグ	故障コードなし	
エアバックシステム	エアバッグ	故障コードなし					

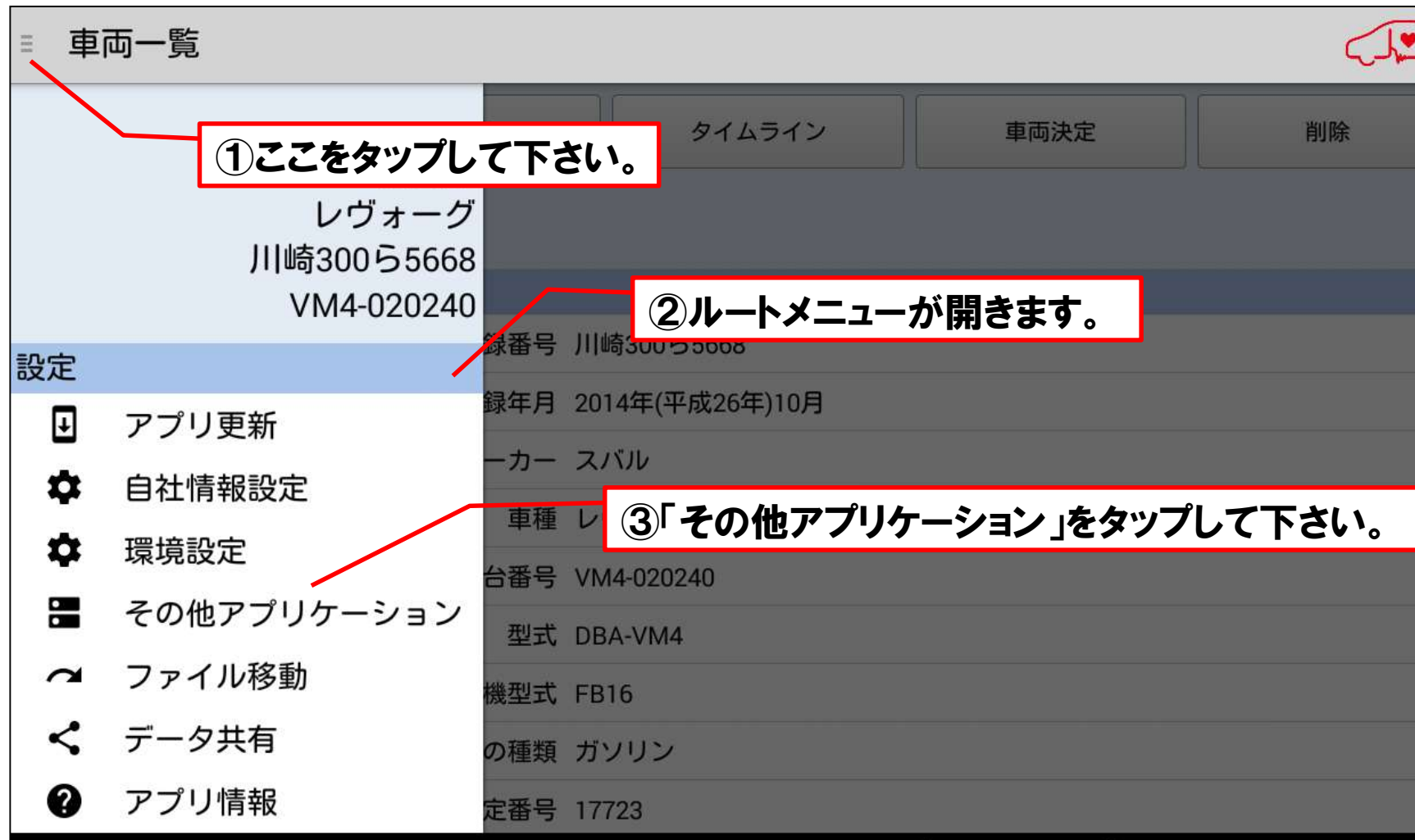
コメント

通常は3ページでPDF出力されますが、車両により2ページで出力されます。

2/2

## (補足)PC上で「Download」フォルダが表示されない場合

(1)タブレットのトップ画面(HDM-8000アプリの)でルートメニューを開いて、ルートメニューから「その他アプリケーション」をタップして下さい。





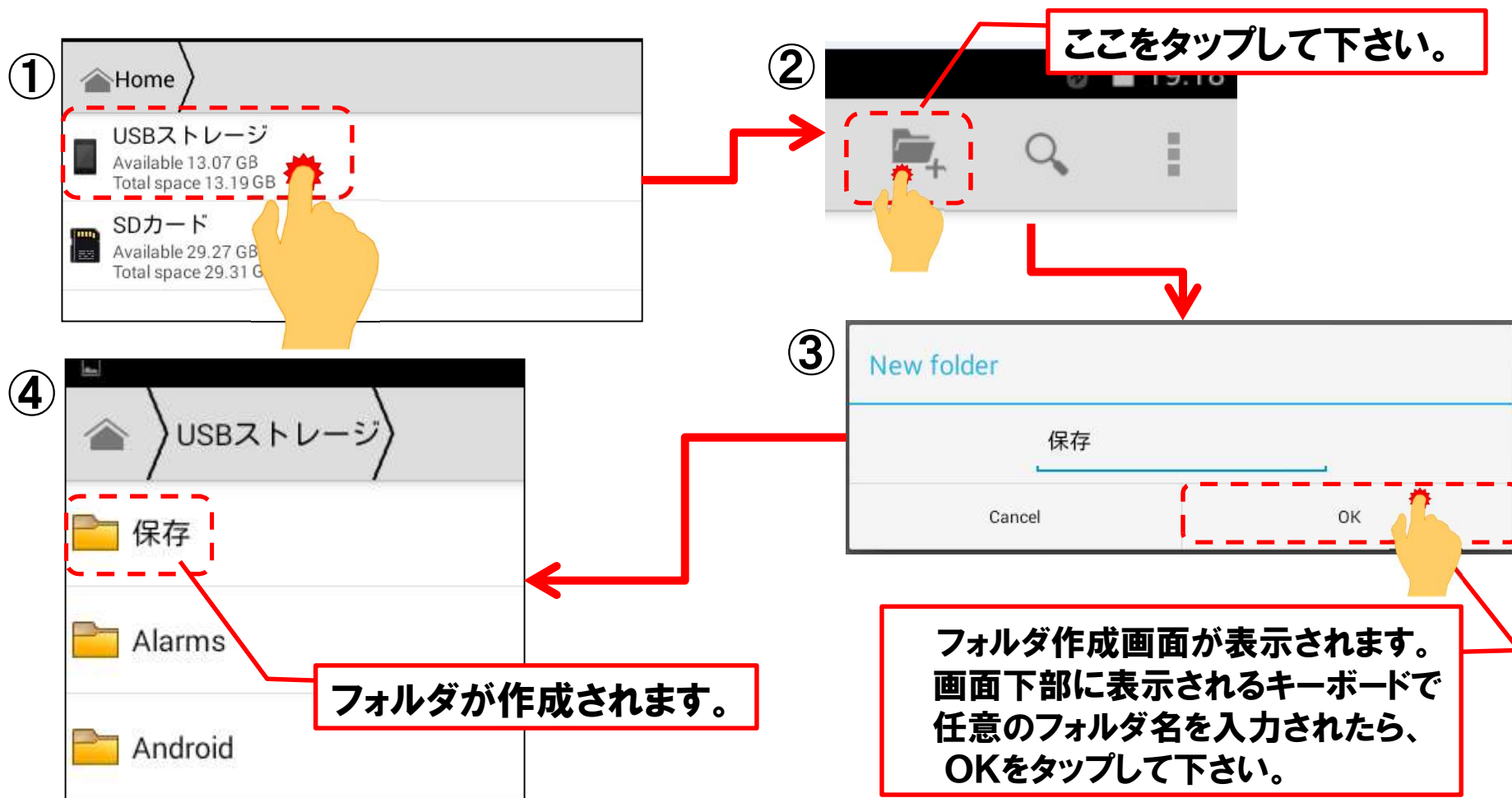
## (補足)PC上で「Download」フォルダが表示されない場合

(2)「その他アプリケーション」の画面から「File Manager」をタップして下さい。



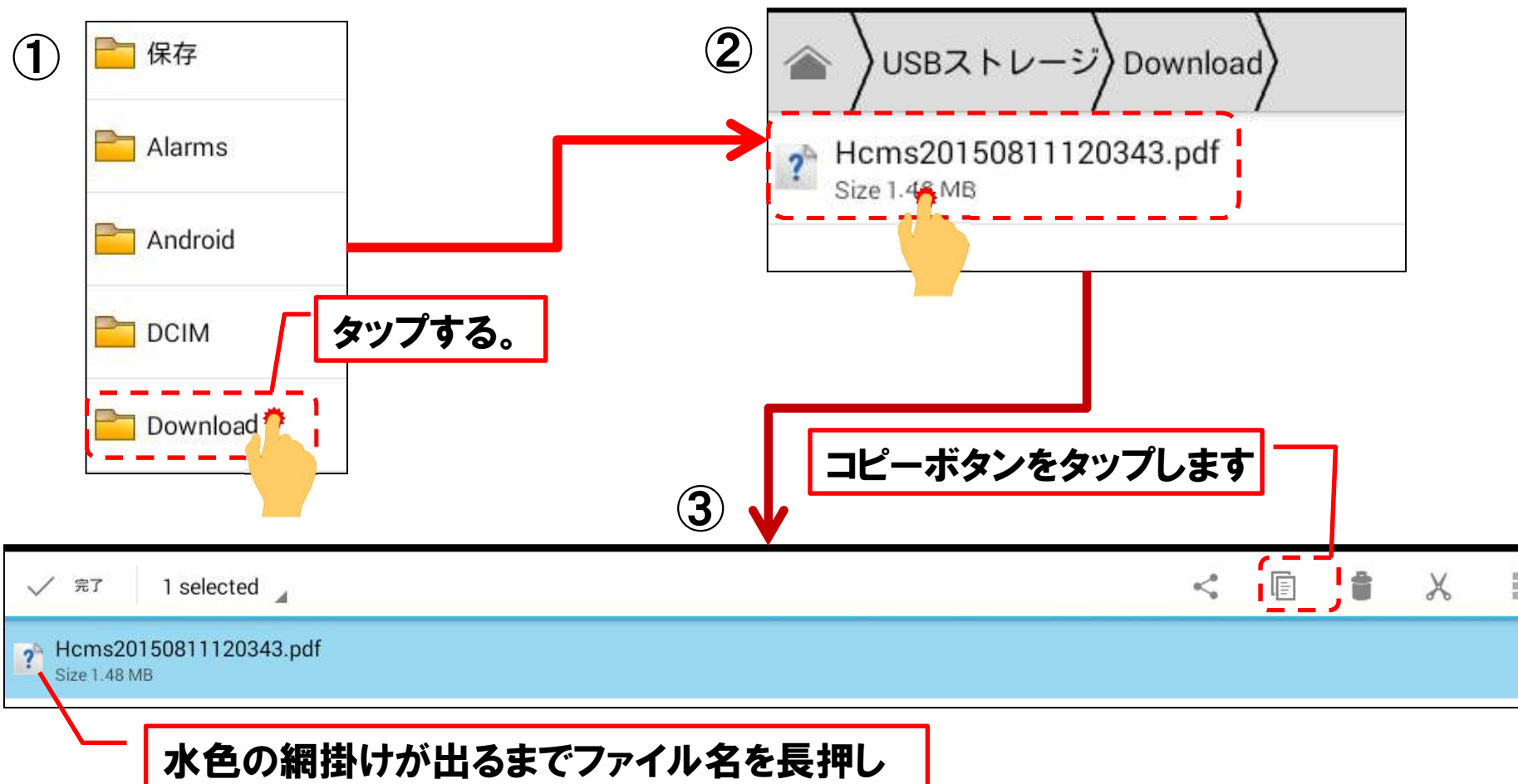
# (補足)PC上で「Download」フォルダが表示されない場合

(3)ホーム画面が表示されます。ホーム画面から「USBストレージ」をタップして下さい。USBストレージ内のフォルダ一覧が表示されましたら、画面右上のコピーボタンをタップして、フォルダを作成して下さい。



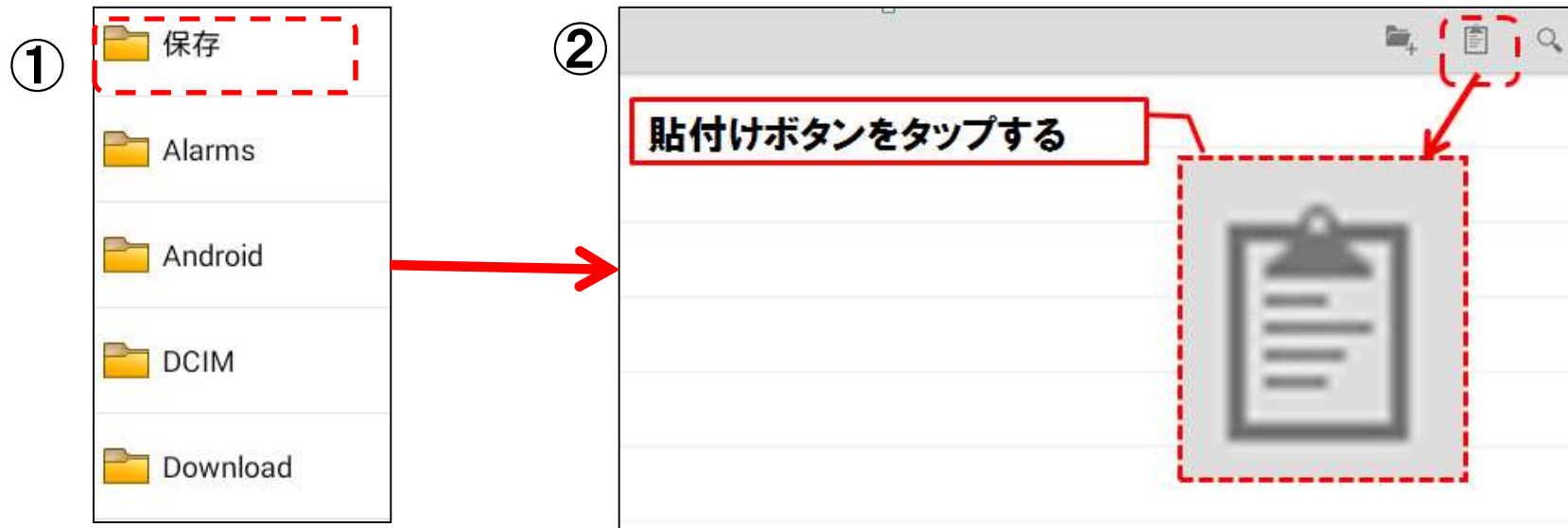
## (補足)PC上で「Download」フォルダが表示されない場合

(4)「Download」のフォルダをタップして開き、前ページの(3)で作成したフォルダに移動させたいファイル名を長押しして下さい。水色の網掛けが表示されましたら、画面右上のコピーボタンを押して下さい。



## (補足)PC上で「Download」フォルダが表示されない場合

(5)画面左上のUSBストレージをタップして、フォルダー一覧に戻ります。  
フォルダー一覧に表示されている(3)で作成したフォルダを開いて、  
画面右上の貼付ボタンをタップすると、(4)でコピーしたファイルが  
貼付られます。



(6)85ページの手順2の(1)の様に、パソコンとタブレットを接続して、  
パソコン上で上記の(5)で保存されたファイルを開いて下さい。

---

# ステップ5

## エクセルによる「診断データ」出力

# エクセルによる「診断データ」出力について

エンジンやABS等、個別のシステムをHDM8000の「故障診断」で点検した際、画面上に表示された故障コードを基に「診断データ」を作成する手順です。以下に示す使用状況のケースに応じて、操作を行って下さい。

## (1) ケースA:

本書のステップ2(15~42ページ)の手順で「車両情報」の登録を行った後、「車両一覧」で「故障診断」をタップし、診断ソフトの「故障コード表示」で表示されたDTCを保存している場合。⇒95ページ以降の手順で「診断データ」を作成して下さい。

登録した車両の情報が「車両情報」の欄に表示された状態で故障診断を実行して、故障コードを保存。

車両情報	
登録番号	川崎501た1978
初度登録年月	2015年(平成27年)09月
メーカー	トヨタ
車種	ノア ハイブリッド
車台番号	ZWR80-0140072
型式	DAA-ZWR80G
原動機型式	2ZR-5JM
燃料の種類	ガソリン
型式指定番号	17698

故障診断

次ページに続く

# エクセルによる「診断データ」出力について

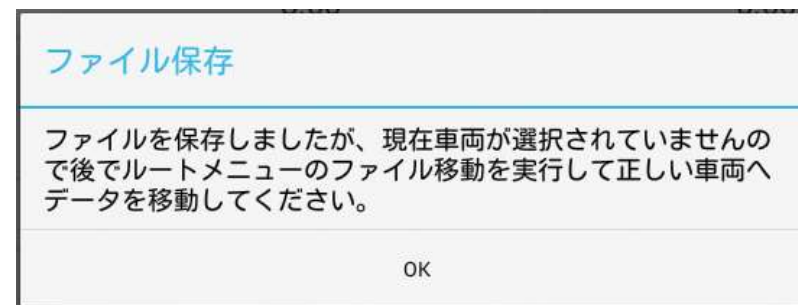
## (2)ケースB:

「車両情報」の登録を行わず、先に「車両一覧」で「故障診断」をタップし、診断ソフトの「故障コード表示」で表示されたDTCを保存されている場合。

⇒以下①～③の手順で進めて下さい。

- ①本書のステップ2(15～42ページ)の手順で「車両情報」の登録を行います。
- ②本書のステップ6(113～129ページ)の手順で①で登録した情報と保存データを紐付けて下さい。
- ③最後に本書のステップ5(92～112ページ)の手順で診断データを作成します。

左の図のように「車両情報」の欄が空欄に状態で故障診断を実行し、故障コード表示で保存を実行した際、右の図のメッセージが表示された場合の手順です。



# 手順1.保存データを再表示する車両の選択

(1)「車両一覧」の画面の左側に表示されている「登録番号から検索」をタップして下さい。





# 手順1.保存データを再表示する車両の選択

(2)「登録番号から検索」と「車台番号から検索」の2つの選択肢が表示されますので、いずれかをタップして選択して下さい。

① 検索方法の設定ボタンをタップして下さい。

② 設定ボタンの下に選択肢が表示されます。いずれかをタップして下さい。

登録番号から検索	車台番号から検索
登録番号	登録番号
初度登録年月	初度登録年月
メーカー	メーカー
車種	車種
車台番号	車台番号
型式	型式
原動機型式	原動機型式
燃料の種類	燃料の種類
型式指定番号	型式指定番号

「登録番号から検索」は車両のナンバープレートの番号を入力して検索します。

# 手順1.保存データを再表示する車両の選択

(3) 検索方法の選択が完了されましたら、検索方法の選択欄の下にある、番号の入力欄をタップして下さい。キーボードが表示されます。



# 手順1.保存データを再表示する車両の選択

- (4)キーボードが表示されましたら、保存データを呼び出したい車両の登録番号、  
を入力して、最後にキーボードの右下にある虫メガネのボタンをタップして下さい。



「登録番号から検索」は車両のナンバープレートの番号を入力して検索します。

# 手順1.保存データを再表示する車両の選択

(5)画面左に該当する「車両情報」の登録番号が表示されます。登録番号をタップすると、「車両情報」が表示されます。

The screenshot shows a mobile application interface for vehicle management. At the top, there is a navigation bar with a hamburger menu icon and the text "車両一覧". Below this, there are several buttons: "新規車両", "編集", "タイムライン (保存データ)", "車両決定", "故障診断", and "削除". A search bar labeled "登録番号から検索" is positioned below the buttons. The main content area displays a list of vehicles. The first vehicle, "川崎501た1978", is highlighted with a blue background. A hand icon is shown tapping on this entry. To the right of the list, a detailed view of the selected vehicle is shown, enclosed in a red dashed box. This view includes fields for registration number, initial registration date, manufacturer, vehicle type, chassis number, model, engine type, fuel type, and model specification number. Two callout boxes with red borders provide instructions: the first points to the search bar and the selected vehicle entry, and the second points to the detailed view.

①表示された候補の中から、呼び出したい車両の番号をタップします。

②車両情報が表示されます。

車両情報	
登録番号	川崎501た1978
初度登録年月	2015年(平成27年)09月
メーカー	トヨタ
車種	ノア ハイブリッド
車台番号	ZWR80-0140072
型式	DAA-ZWR80G
原動機型式	2ZR-5JM
燃料の種類	ガソリン
型式指定番号	17698

## 手順2.タイムライン(保存データ)からのデータ表示

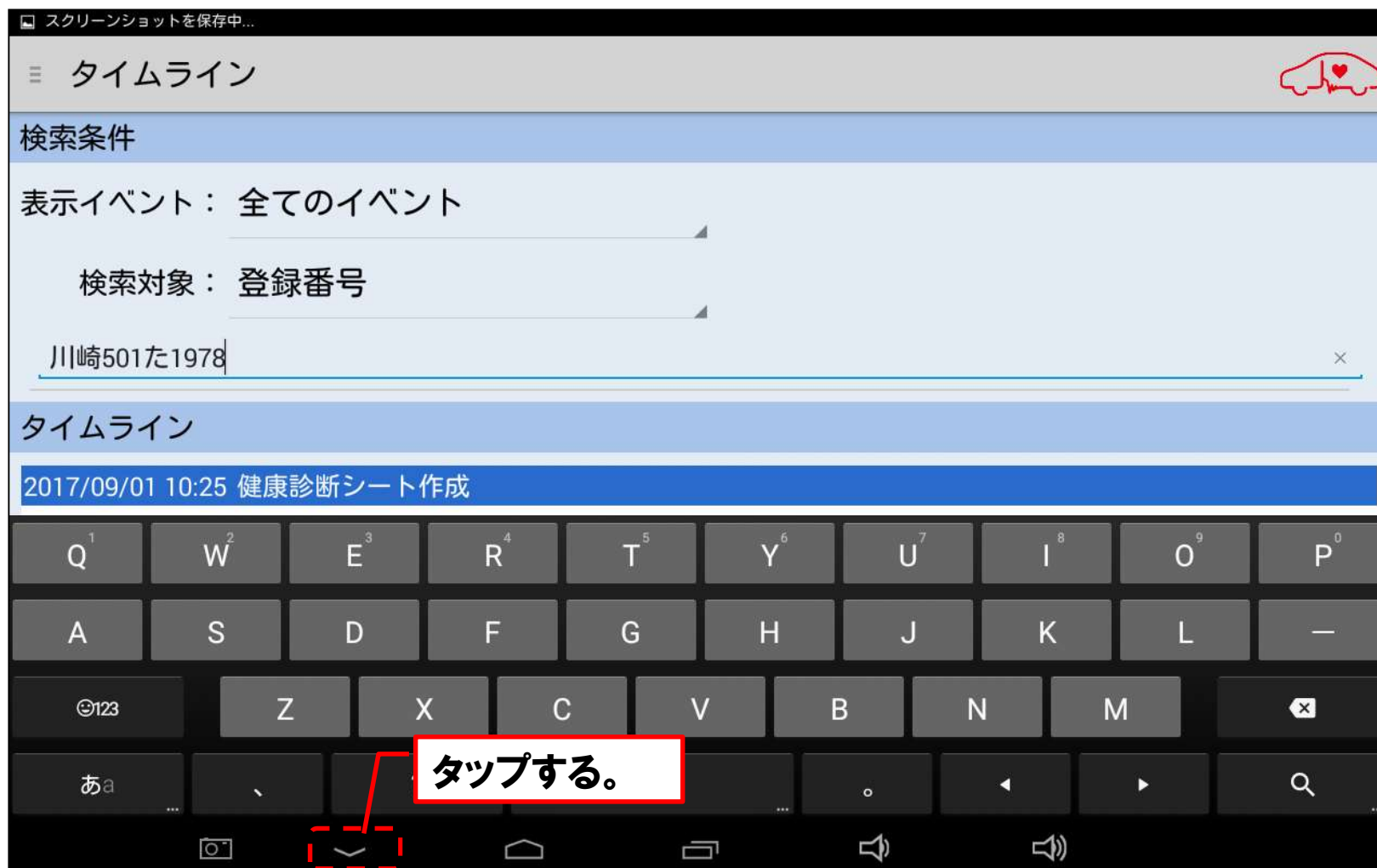
(1)画面上部の「タイムライン(保存データ)」をタップして下さい。



この画面の様に「車両情報」の欄に車両情報が表示された状態で「車両決定」のボタンを押すと、「健康診断履歴(直近で作成した健康診断結果を表示する画面/77ページ参照)」が表示されます。

## 手順2.タイムライン(保存データ)からのデータ表示

(2)「タイムライン」が表示されます。ソフトウェアキーボードが表示されますので、画面下部の消去ボタンをタップして、キーボードの表示を隠して下さい。



## 手順2.タイムライン(保存データ)からのデータ表示

(3)「タイムライン」の一覧が表示されます。タイムラインにある「故障診断データ(DTC)」を確認されましたら「再表示」をタップします。



●タイムラインに表示されている「健康診断シート作成」のデータを基に診断データを作成する場合は、「健康診断シート作成」の「再表示」をタップして、80ページ以降の操作を行って下さい。

## 手順2.タイムライン(保存データ)からのデータ表示

### (4)「故障診断データ(DTC)」が表示されます。

システム	コード	コード内容	検出条件
エンジン	P0102	エアフロセンサ	
エンジン	P0113	吸気温度センサ	
ABS	故障コードなし		
メータ/メータ&エアコンアンプ	故障コードなし		
BCM	故障コードなし		
エアバッグ	故障コードなし		
AT/CVT	故障コードなし		
電動パワーステアリング	故障コードなし		
IPDM E/R	故障コードなし		



# 手順3.保存データのCSV化

(1)液晶画面の右に表示されている矢印(<)をタップして下さい。



# 手順3.保存データのCSV化

(2)メニューが表示されましたら「CSV出力」をタップして下さい。

スクリーンショットを保存中...

保存日時 2016/04/21 18:41:21  
アプリケーション 日産/インフィニティ  
システム  
区分 全システムのダイアグコード表示  
故障コード数 2

システム	コード	コード内容
エンジン	P0102	IA70-センサ
エンジン	P0113	吸気温センサ
ABS	故障コードなし	
メータ/メータ&IAコンソール	故障コードなし	
BCM	故障コードなし	
エアバッグ	故障コードなし	
AT/CVT	故障コードなし	
電動パワーステアリング	故障コードなし	
IPDM E/R	故障コードなし	

- ファイル
  - 故障診断保存データを開く
  - 故障診断データ比較結果を開く
  - 保存
    - CSV出力**
- 比較
- 数値
- グラフ
- 選択
- 戻る
- 印刷
- 終了

# 手順3.保存データのCSV化

## (3)保存データがCSV化されます。

スクリーンショットを保存中...

保存日時: 2016/04/21 18:41:21  
アプリケーション: 日産/インフィニティ  
システム: 全システムのダイアグコード表示  
区分: 2  
故障コード数: 2

システム	コード	コード内容
エンジン	P0102	I770-センサ
エンジン	P0113	
ABS	故障コードなし	
メータ/メータ&IAコンソブ	故障コードなし	
BCM	故障コードなし	
エアバッグ	故障コードなし	
AT/CVT	故障コードなし	
電動パワー	故障コードなし	
IPDM E/R	故障コード	

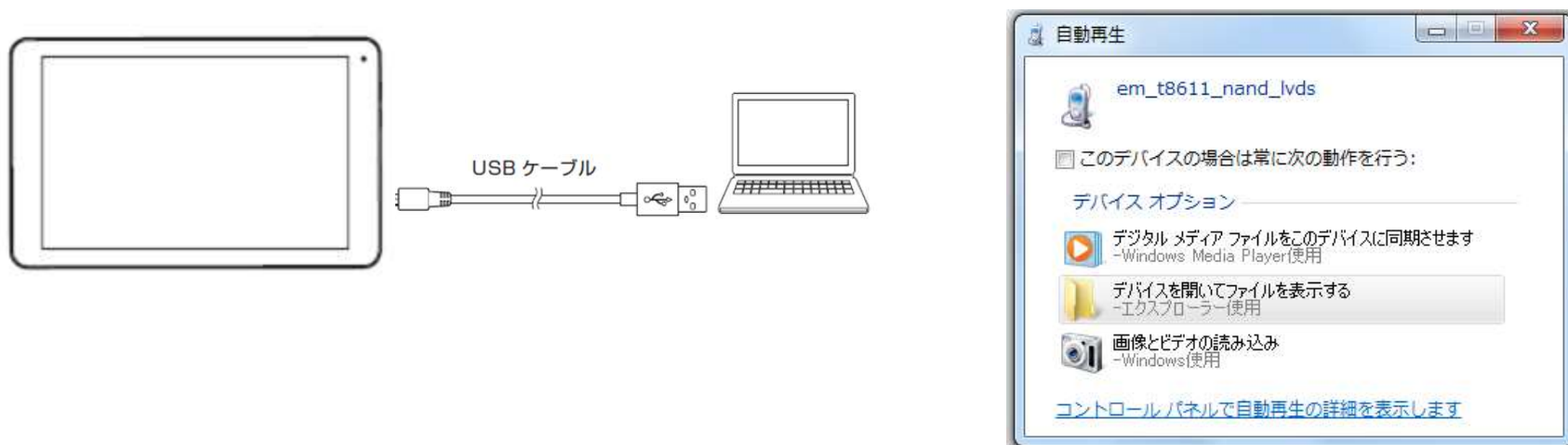
**ファイル保存**  
ファイルを保存しました。  
保存ファイル名 : 20170901112714.csv  
OK

- 保存ファイル名を確認して下さい。
- 保存ファイル名はCSV化を実行した日時となります。
- CSVファイルはタブレット内の「HDM8000」フォルダに保存されます。

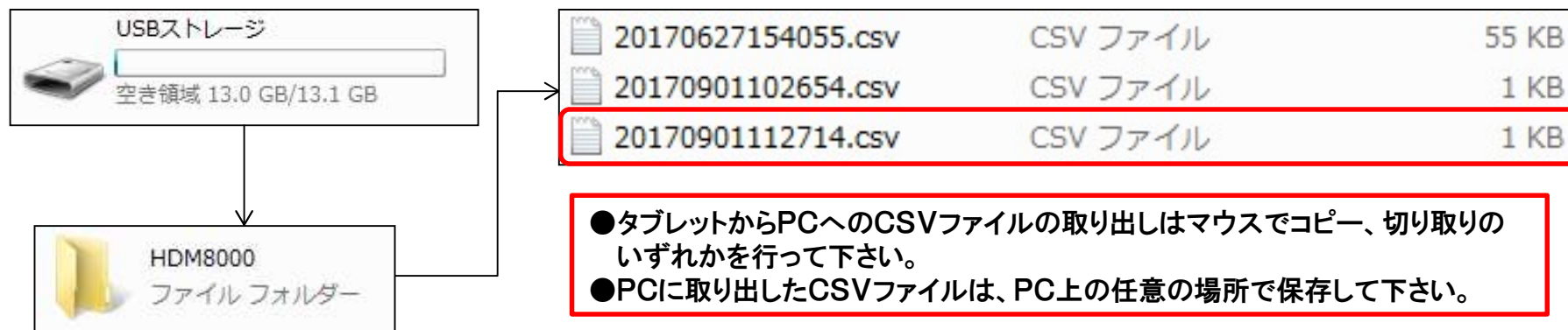
選択  
戻る  
印刷  
終了

# 手順4.タブレットからのCSVデータの取り出し

(1) 付属のUSBケーブルでPCとタブレットを接続して下さい。「自動再生」が表示されたら、「デバイスを開いてファイルを表示する」をクリックして下さい。



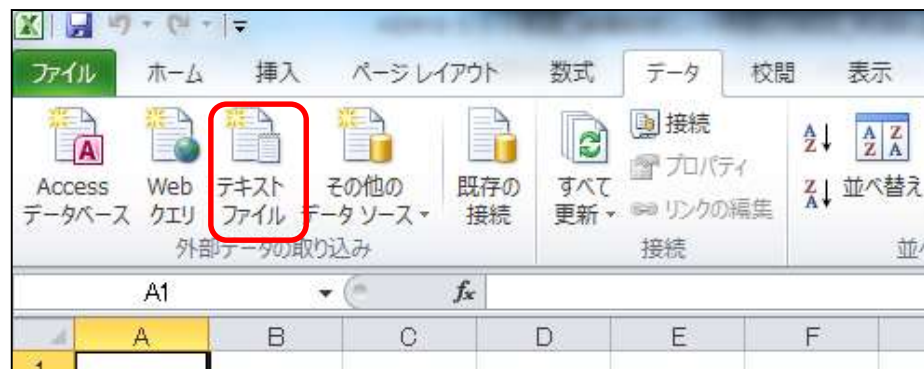
(2) 次に表示された「USBストレージ」をクリックすると、各フォルダが表示されます。「HDM8000」のフォルダをクリックして開き、ファイル名を確認してCSVファイルを取り出します。



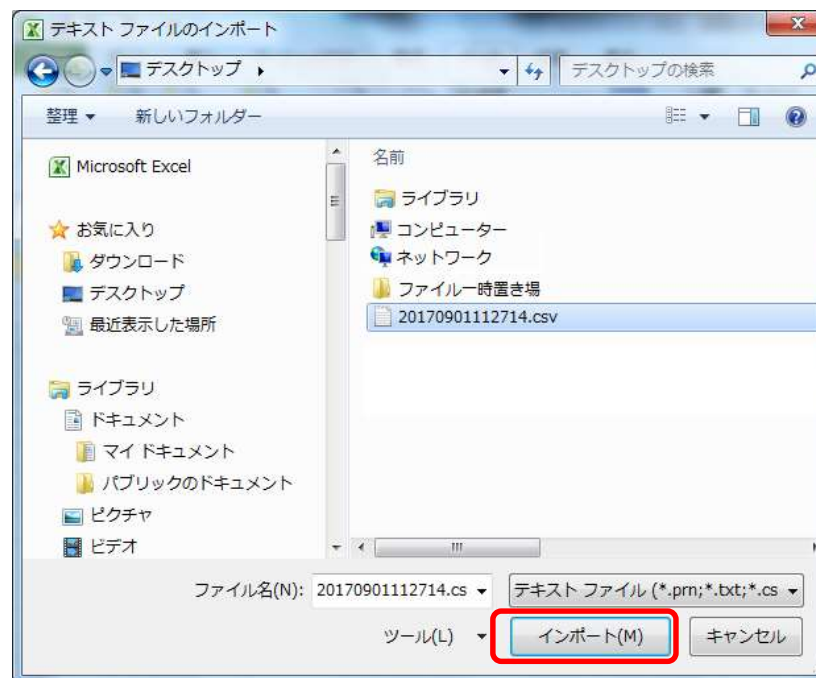
# 手順5.パソコン上でのCSVデータのエクセル変換

表示例はパソコンがWin7、エクセルがMicrosoft Excel 2010です。

- (1)エクセルを起動して下さい。
- (2)データのタブをクリックし、次に「テキストファイル」をクリックします。



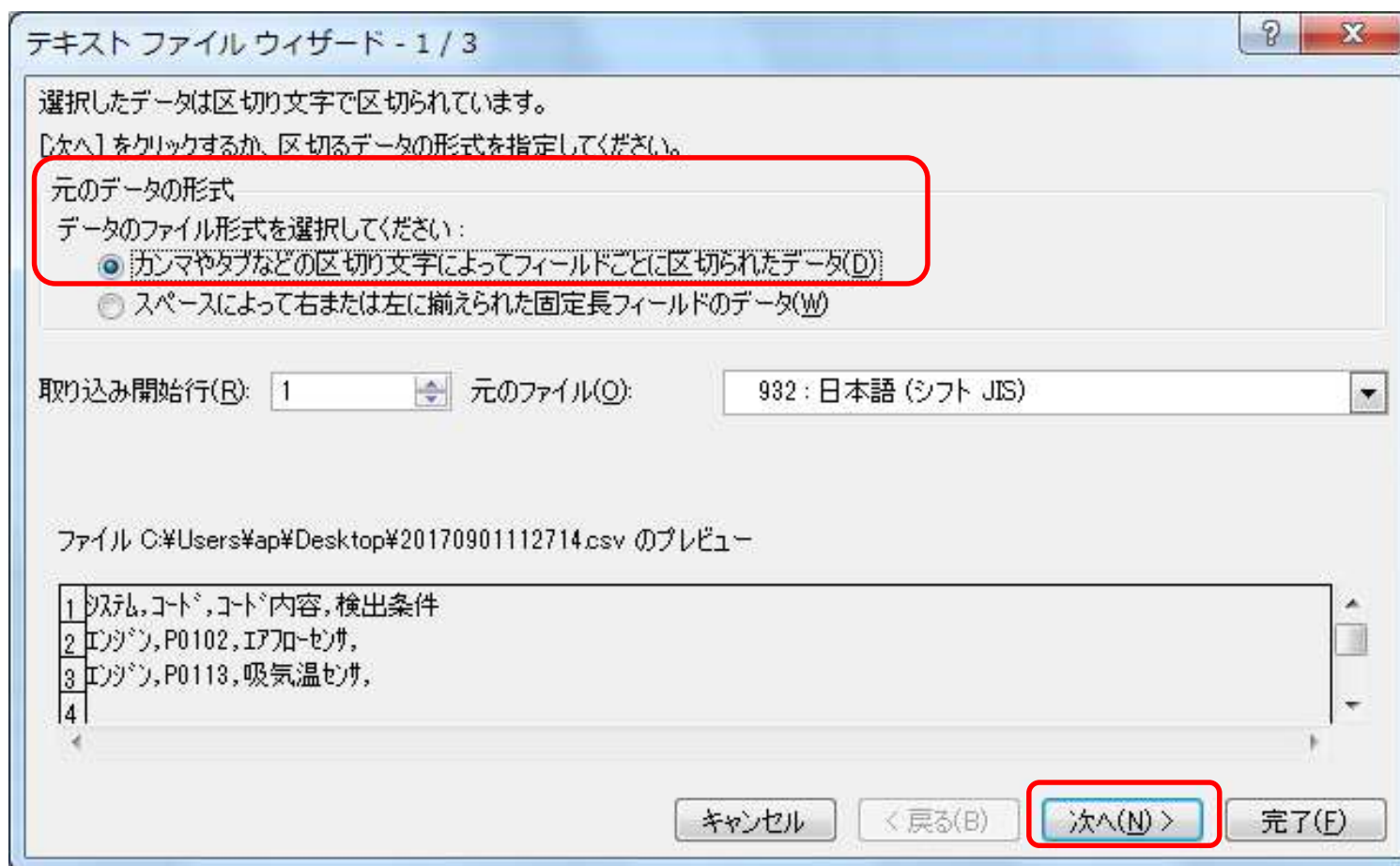
- (3)「テキストファイルのインポート」が表示されます。
- (4)手順3でパソコンに保存したCSVファイルを選択し、「インポート」をクリックして下さい。



## 手順5.パソコン上でのCSVデータのエクセル変換

表示例はパソコンがWin7、エクセルがMicrosoft Excel 2010です。

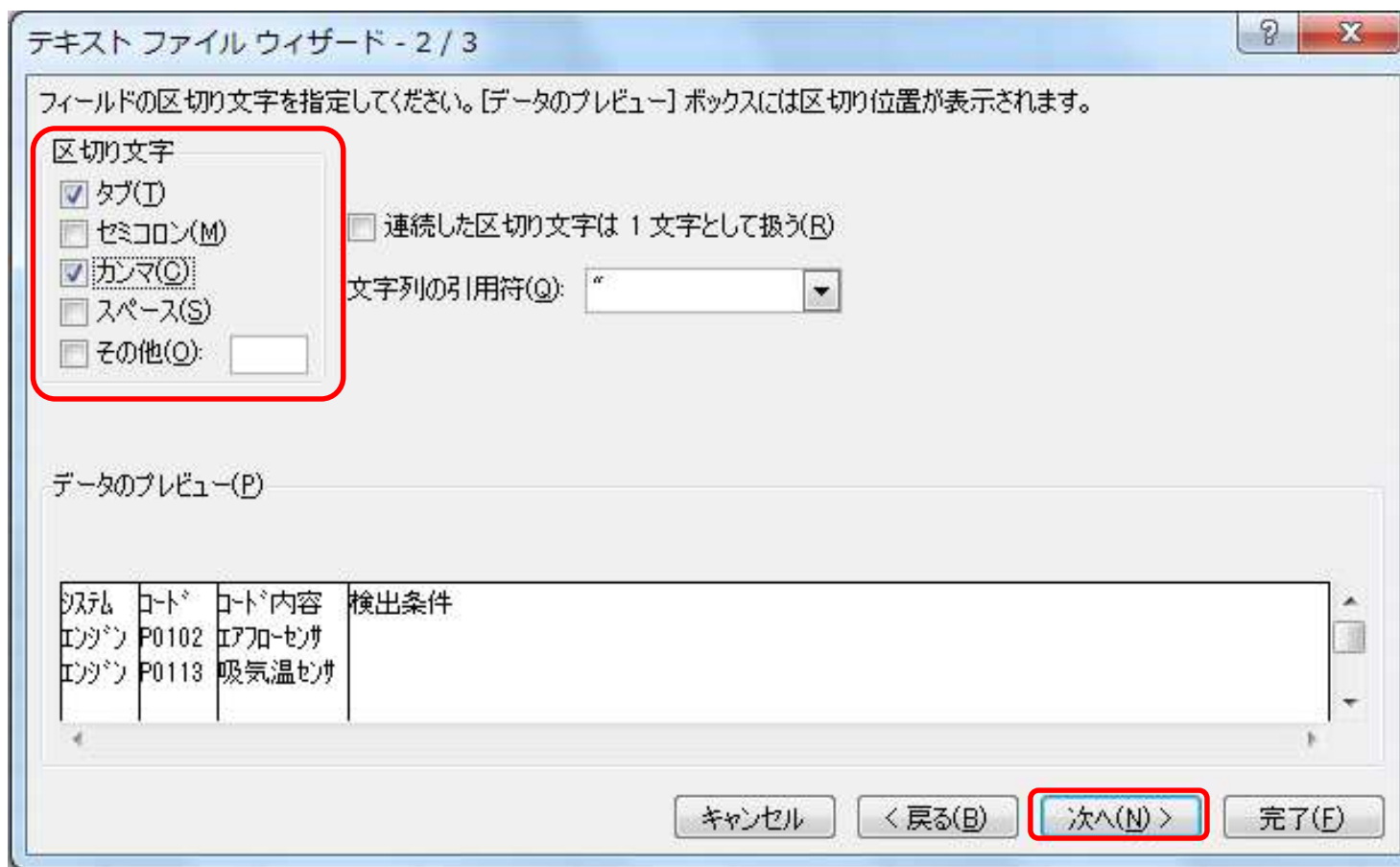
(5)テキストファイルウィザードが表示されます。「元のデータ形式」で「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



## 手順5.パソコン上でのCSVデータのエクセル変換

表示例はパソコンがWin7、エクセルがMicrosoft Excel 2010です。

(6)テキストファイルウィザードの2/3が表示されます。「区切り文字」で「タブ」と「カンマ」にチェックが入っているか確認し、「次へ」をクリックします。もし、「タブ」と「カンマ」にチェックが入っていなければ、チェックを入れてから「次へ」をクリックして下さい。



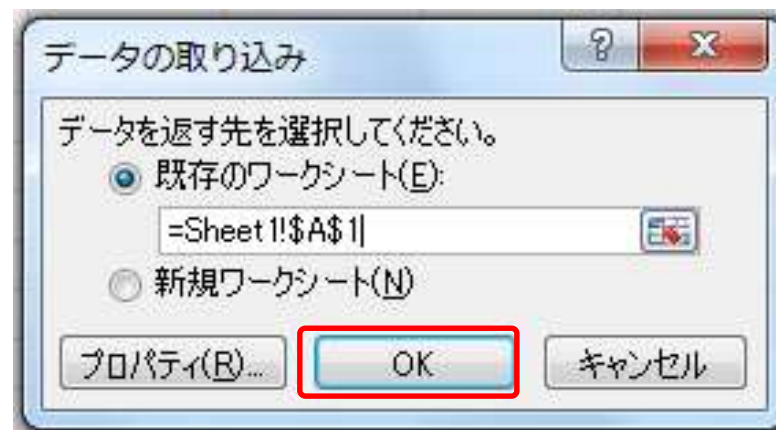
## 手順5.パソコン上でのCSVデータのエクセル変換

表示例はパソコンがWin7、エクセルがMicrosoft Excel 2010です。

(7)テキストファイルウィザードの3/3が表示されます。完了をクリックします。



(8)「データの取り込み」が表示されましたら「OK」をクリックします。





## 手順5.パソコン上でのCSVデータのエクセル変換

(9)CSVファイル(DTCのデータ)がエクセルに取り込まれます。

	A	B	C	D	E	F
1	システム	コード	コード内容	検出条件		
2	エンジン	P0102	エアフローセンサ			
3	エンジン	P0113	吸気温センサ			
4						
5						
6						

(10)エクセルを操作して「診断データ」に必要な「診断年月日」「車両番号」「車両型式」を追記して下さい。

	A	B	C	D	
4	診断年月日	2017.09.01			
5	車両番号	品川300さ6105			
6	車両型式	GH-W650			
7					
8					
9	システム	コード	コード内容	検出条件	
10	エンジン	P0102	エアフローセンサ		
11	エンジン	P0113	吸気温センサ		
12					

(11)ファイル名を「診断年月日+車両番号」の様な管理が行い易い名前を付けて、保存を行って下さい。

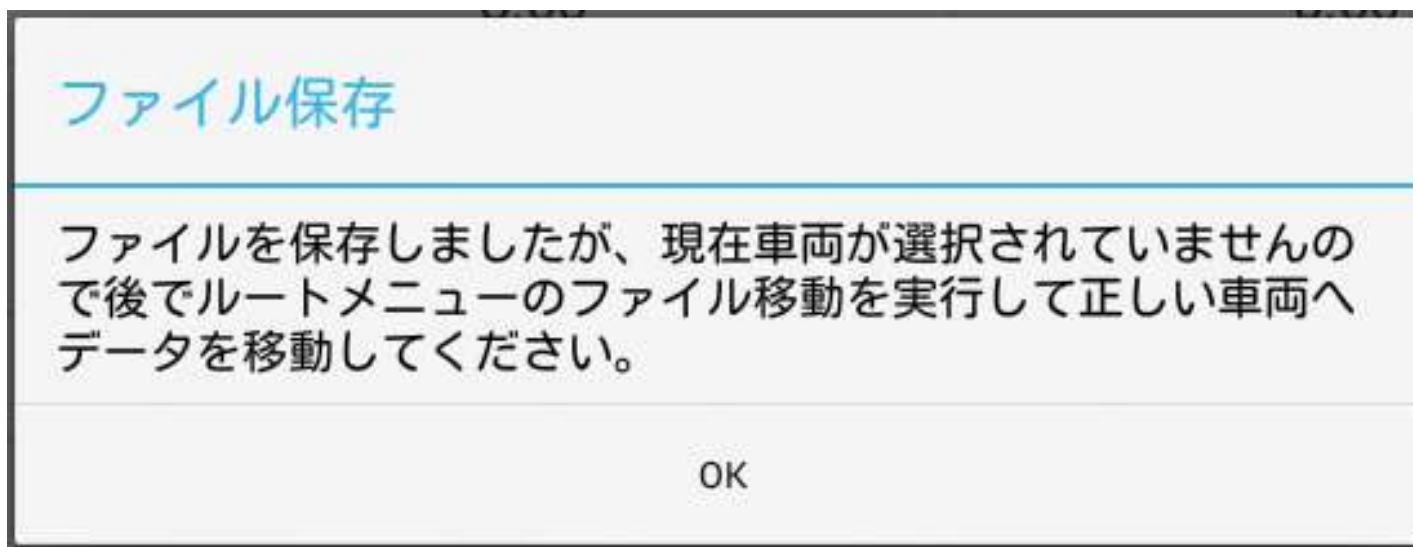
# ステップ6

## ファイル移動について

### （保存データと車両情報の紐付）

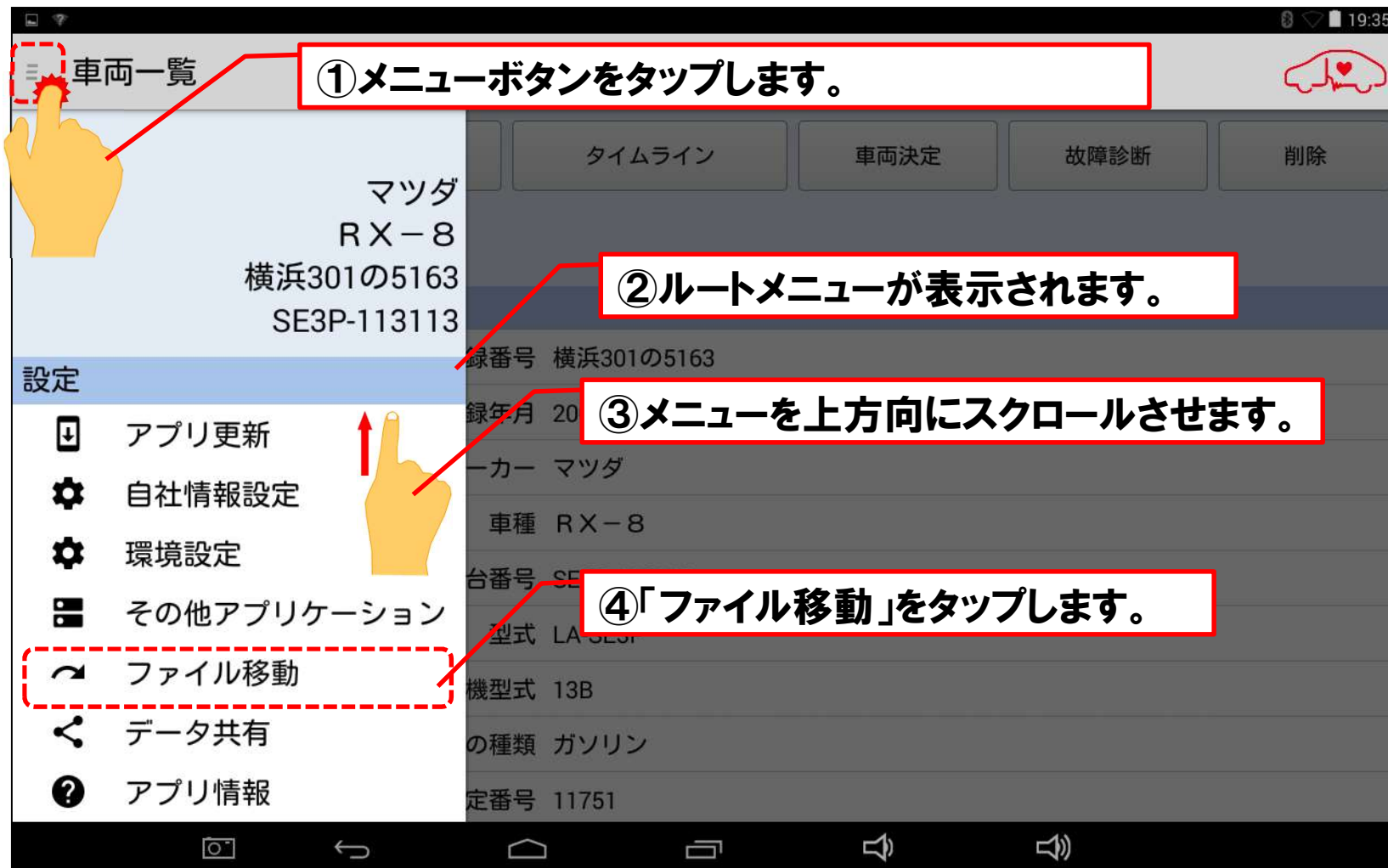
## 「ファイル移動」について

HDM8000は本書のステップ2(00～00ページ)の車両情報の登録を行わなくても、「車両一覧」画面の「故障診断」ボタンをタップすれば、自動車メーカー別診断ソフトによる故障診断を実行したり、画面に表示された故障コード(DTC)やデータモニタを保存することが可能です。但し、HDM8000は保存したデータを再表示する為の索引(ファイル名)として、車両情報を使用しますので、データ保存を実行された際に下図のメッセージが表示されましたら、診断ソフトの終了後に、本手順による「ファイル移動」で車両情報と保存データの紐付を行って下さい。



# 手順1:「ファイル移動」の起動

(1) ルートメニューを表示させ、「ファイル移動」をタップして下さい。



# 手順1:「ファイル移動」の起動

## (2)「ファイル移動」画面が表示されます。

移動元車両	移動先車両
お客様名	お客様名
登録番号	登録番号 横浜301の5163
車台番号	車台番号 SE3P-113113
移動元車両の診断ファイル一覧(車両未選択時)	移動元車両の写真一覧
<input type="checkbox"/> 2016年06月18日 18:21:48 故障診断データ(DTC)	該当する写真がありません
<input type="checkbox"/> 2016年06月18日 18:19:55 故障診断データ(DTC)	

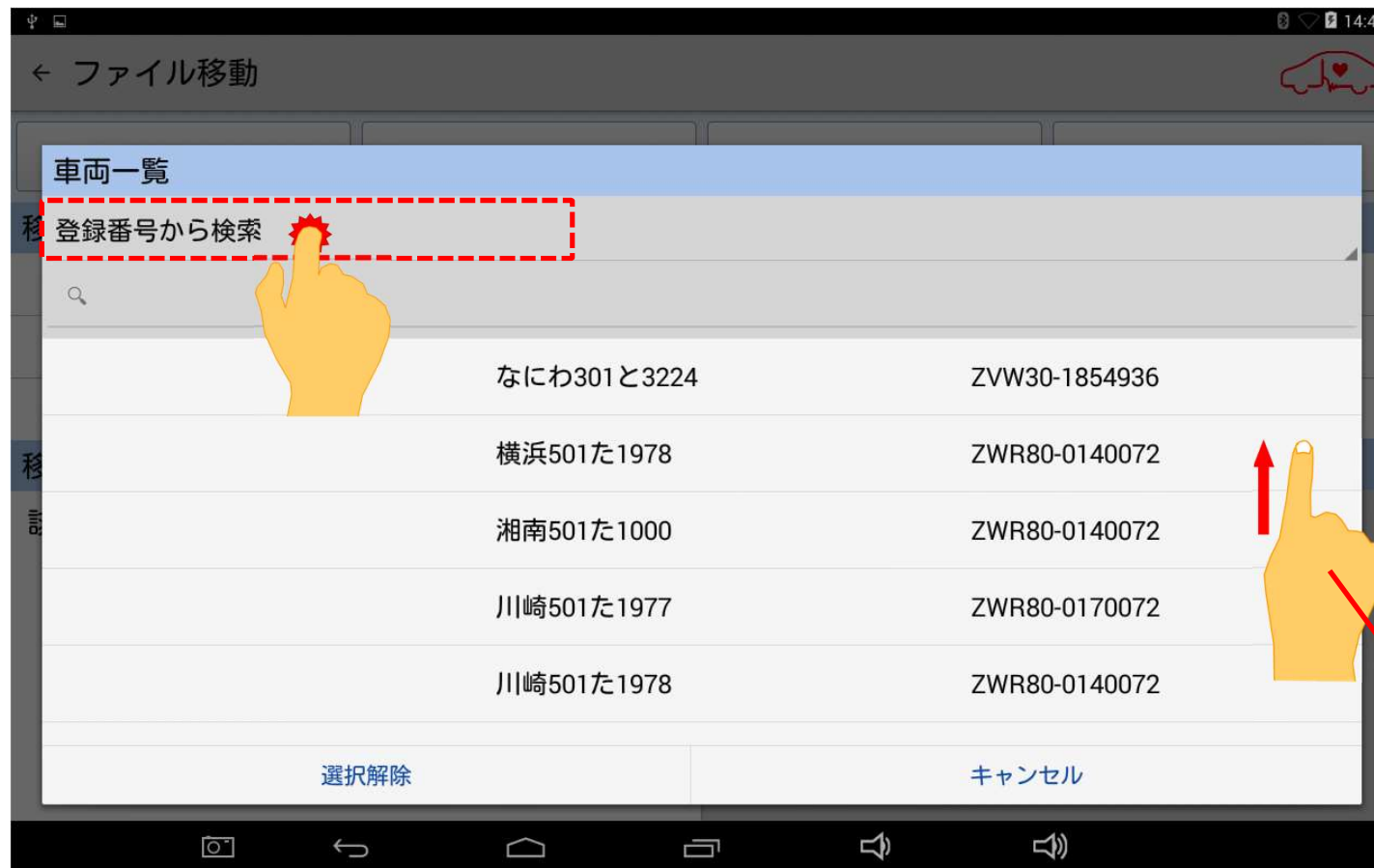
## 手順2:保存データを紐付ける車両の選択

(1)「移動先車両選択」をタップします。

← ファイル移動			
選択車両反転	移動元車両選択	<b>移動先車両選択</b>	移動
移動元車両		移動先車両	
お客様名		お客様名	
登録番号		登録番号 横浜301の5163	
車台番号		車台番号 SE3P-113113	
移動元車両の診断ファイル一覧(車両未選択時)		移動元車両の写真一覧	
<input type="checkbox"/> 2016年06月18日 18:21:48 故障診断データ(DTC)		該当する写真がありません	
<input type="checkbox"/> 2016年06月18日 18:19:55 故障診断データ(DTC)			

## 手順2:保存データを紐付ける車両の選択

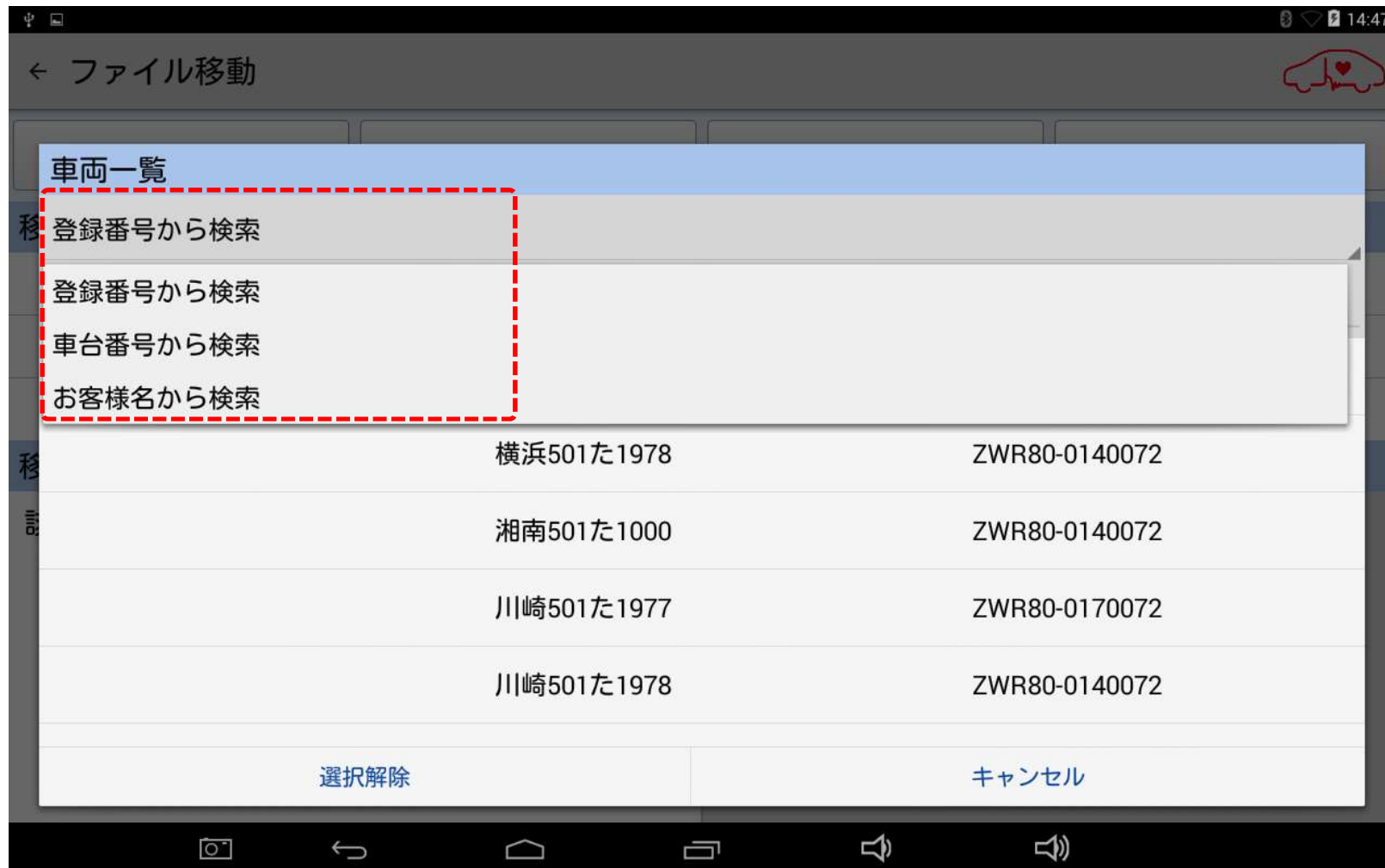
(2)「車両一覧」が表示され、車両情報が登録済みの車両の一覧が表示されます。「登録番号から検索」をタップします。



※画面をスクロールさせて、保存データと紐付きたい車両情報を表示させて、タップして選択することも可能です。

## 手順2:保存データを紐付ける車両の選択

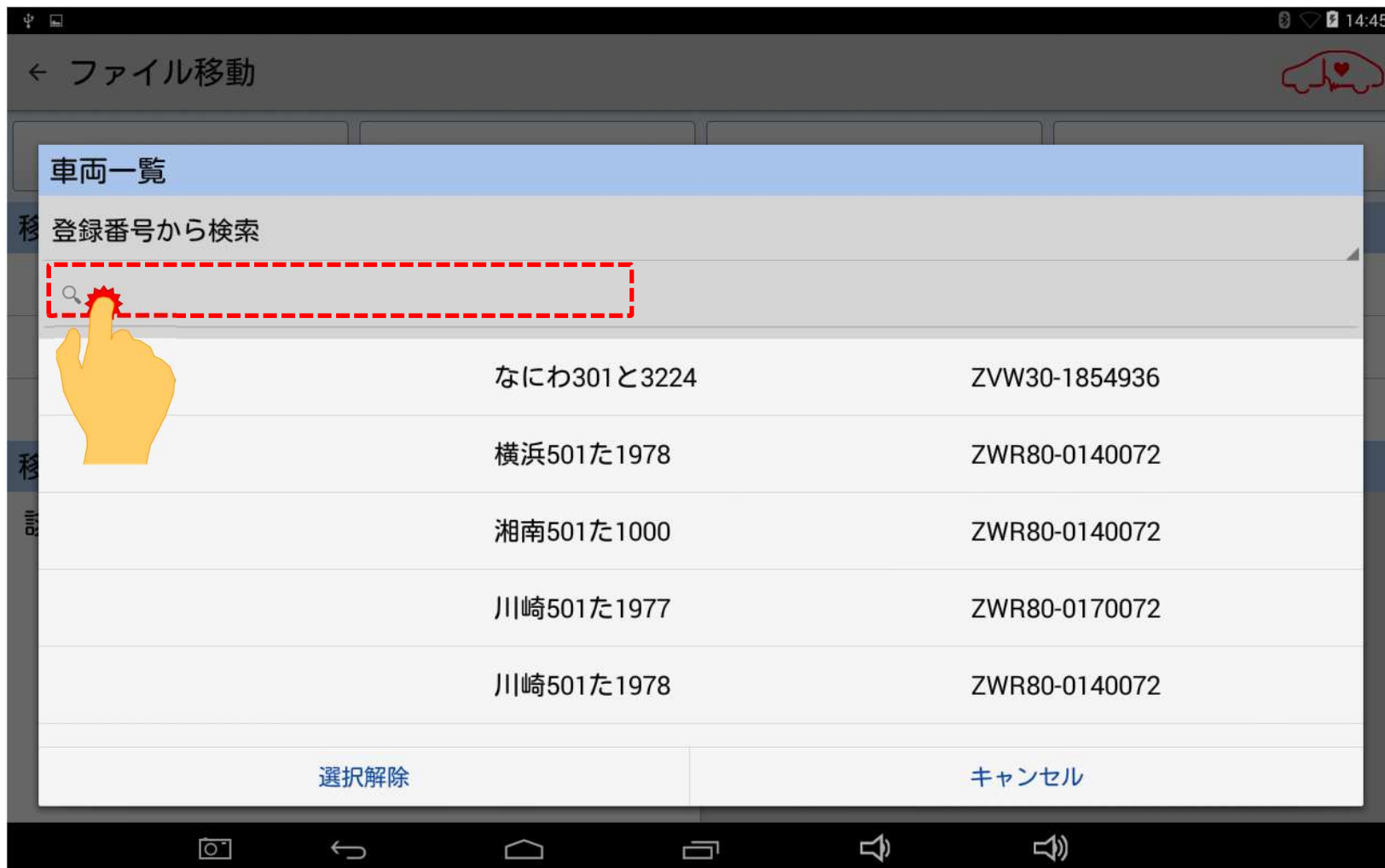
(3)「登録番号から検索」をタップすると、検索方法の選択肢が表示されます。検索が行い易い選択肢をタップして下さい。





## 手順2:保存データを紐付ける車両の選択

(4)検索方法を選択されたら、その下に表示されている虫メガネのマークをタップして下さい。(例:登録番号から検索)



## 手順2:保存データを紐付ける車両の選択

(5)キーボードが表示されます。選択したい車両の登録番号を半角で入力し、最後に入力文字の切替えボタンをタップして下さい。

①キーボードで番号を入力します。



②入力文字の切替えボタンをタップします。

## 手順2:保存データを紐付ける車両の選択

(6)画面右下の虫メガネのボタンをタップします。



## 手順2:保存データを紐付ける車両の選択

(7)車両が絞り込まれますので、タップして下さい。



## 手順2:保存データを紐付ける車両の選択

(8)「移動先車両」の欄に、前のページで選択した車両の情報が表示されます。

移動元車両	移動先車両
お客様名	お客様名
登録番号	登録番号 川崎501た1978
車台番号	車台番号 ZWR80-0140072
移動元車両の診断ファイル一覧(車両未選択時)	移動元車両の写真一覧
<input type="checkbox"/> 2016年06月18日 18:21:48 故障診断データ(DTC)	該当する写真がありません
<input type="checkbox"/> 2016年06月18日 18:19:55 故障診断データ(DTC)	

## 手順3:保存データを選択した車両との紐付け

(1)画面左下の「移動元車両の診断ファイル一覧(車両未選択時)」に表示されているデータの内、「移動先車両」に関連付けしたいデータにチェックを入れて下さい。

移動元車両	移動先車両
お客様名	お客様名
登録番号	登録番号 川崎501た1978
車台番号	車台番号 ZWR80-0140072
移動元車両の診断ファイル一覧(車両未選択時)	移動元車両の写真一覧
<input checked="" type="checkbox"/> 2016年06月18日 18:21:48 故障診断データ(DTC)	該当する写真がありません
<input checked="" type="checkbox"/> 2016年06月18日 18:19:55 故障診断データ(DTC)	

「移動元車両の診断ファイル一覧」に表示されているデータの内、指でチェックが付けられた項目が、「移動先車両」に表示されている車両に関連付けされます。

## 手順3:保存データを選択した車両との紐付け

(2)データの選択が終了したら、画面右上の「移動」をタップします。



## 手順3:保存データを選択した車両との紐付け

(3)画面の下部に「ファイル移動を行いました」と表示され、保存データが「移動先車両」の車両情報に紐付けがされます。

移動元車両	移動先車両
お客様名	お客様名
登録番号	登録番号 川崎501た1978
車台番号	車台番号 ZWR80-0140072
移動元車両の診断ファイル一覧(車両未選択時)	移動元車両の写真一覧
該当するファイルがありません	該当する写真がありません

ファイル移動を行いました



## 手順3: 保存データを選択した車両との紐付け

(4)「ファイル移動」を終了し、「車両一覧」に戻る時は、画面左上の矢印か、画面下の「戻る」ボタンをタップして下さい。



一旦、車両情報と紐付した保存データを別の車両に紐付したい場合は130ページ以降を参照して下さい。

## 手順3:保存データを選択した車両との紐付け

(5)「車両一覧」に戻れば完了です。



**92ページのステップ5へ進みます。**

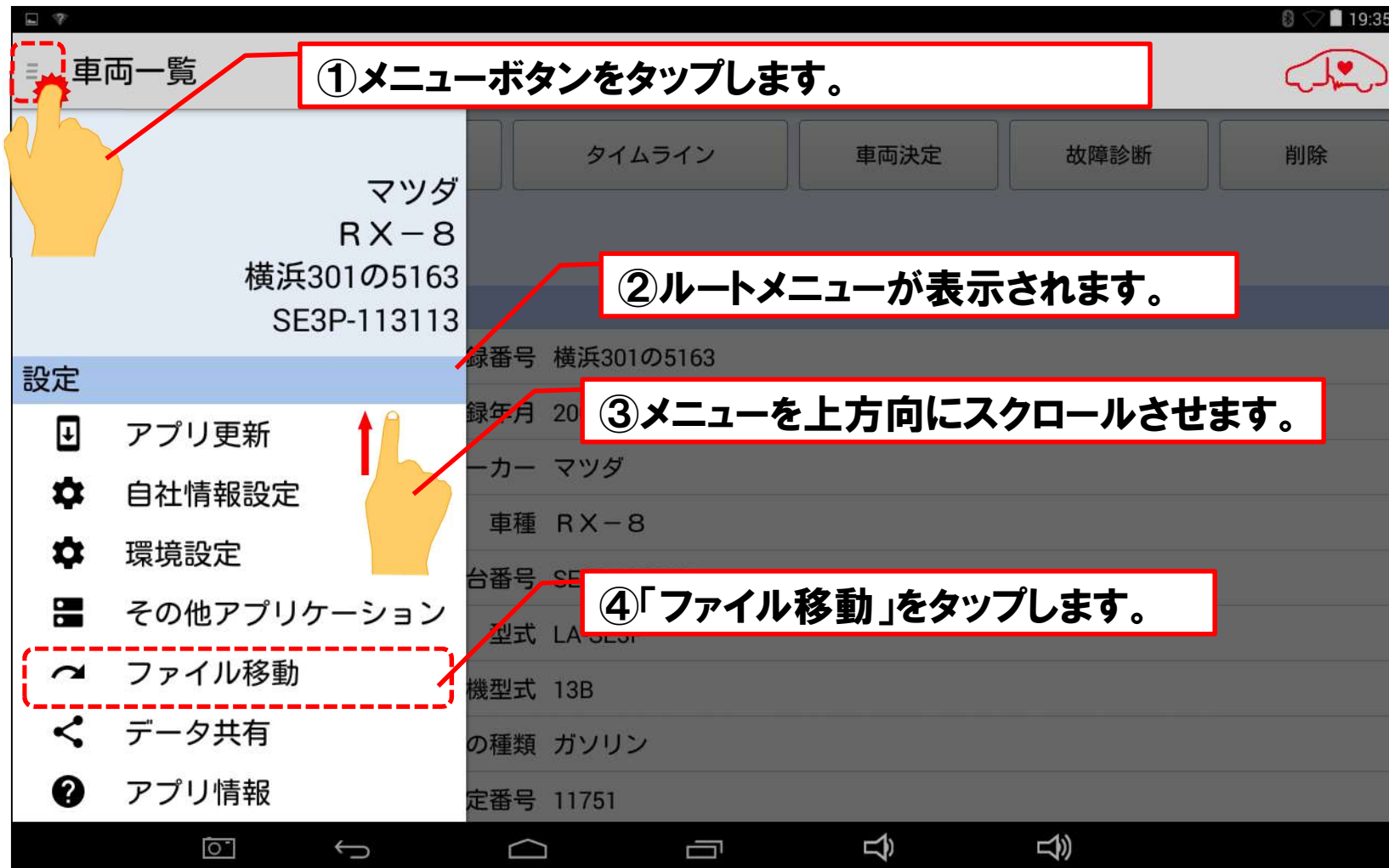
# ステップ7

## ファイル移動の修正方法について

113～129ページの「ファイル移動」の手順で、車両情報と保存データの紐付を行った際、間違って別の車両情報と保存データを紐付けた場合等は、132ページ以降の手順で、紐付の修正を行って下さい。

# 手順1:「ファイル移動」の起動

(1) ルートメニューを表示させ、「ファイル移動」をタップして下さい。



# 手順1:「ファイル移動」の起動

## (2)「ファイル移動」画面が表示されます。

移動元車両	移動先車両
お客様名	お客様名
登録番号	登録番号 川崎501た1978
車台番号	車台番号 ZWR80-0140072
移動元車両の診断ファイル一覧(車両未選択時)	移動元車両の写真一覧
該当するファイルがありません	該当する写真がありません

## 手順2:「移動先車両選択」の実行

### (1)「移動先車両選択」をタップします。



もし、移動先車両の欄に、保存データの紐付を解除する車両(間違って保存データを紐付した車両が表示されていたら、画面左上の「選択車両反転」のボタンをタップして、移動元車両の欄に移動させてから、本ページ以降の手順を行い、手順3を飛ばして、140ページからの手順4を行って下さい。

## 手順2:「移動先車両選択」の実行

(2)「車両一覧」が表示されます。保存データを紐付けさせたい車両を選択して下さい。



118～123ページの手順も使用出来ます。



## 手順2:「移動先車両選択」の実行

### (3) 移動先車両が選択されます。

移動元車両	移動先車両
お客様名	お客様名
登録番号	登録番号 横浜301の5163
車台番号	車台番号 SE3P-113113
移動元車両の診断ファイル一覧(車両未選択時)	移動元車両の写真一覧
該当するファイルがありません	該当する写真がありません

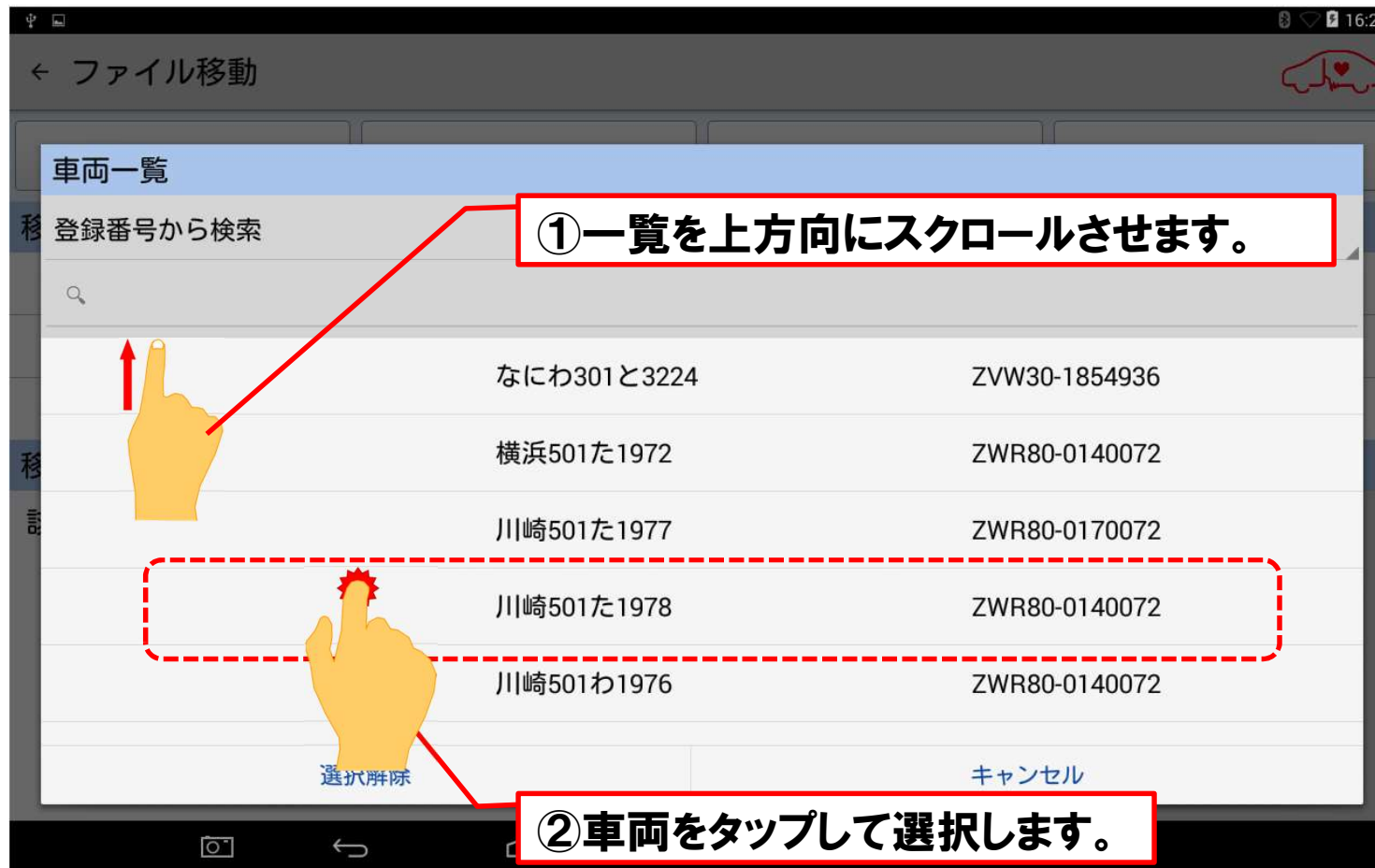
# 手順3:「移動元車両選択」の実行

(1)「移動元車両選択」をタップします。



## 手順3:「移動元車両選択」の実行

(2)「車両一覧」が表示されます。保存データの紐付けを外す車両  
(例:間違えて保存データを紐付した車両)を選択して下さい。



# 手順3:「移動元車両選択」の実行

(3)「移動元車両」の欄に車両情報と、その車両情報に紐付されている保存データ(診断ファイル)が画面の左側に表示されます。



## 手順4: 紐付をやりなおすデータの選択

(1) 「移動元車両の診断ファイル一覧」に表示されている保存データ(診断ファイル)の内、移動させたい保存データのチェック欄(□)をタップしてチェック(☑)を入れて下さい。



## 手順4: 紐付をやりなおすデータの選択

(2)画面の右上の「移動」をタップして下さい。チェック(☑)を入れた保存データ(診断ファイル)が移動先車両に表示されている車両に紐付がされます。



## 手順4: 紐付をやりなおすデータの選択

(3)「ファイル移動」を終了して「車両一覧」の画面に戻る場合は、画面左上の矢印か、画面下の「戻る」ボタンをタップして下さい。



## 手順5: 紐付の確認

(1) 保存データが正しく紐付けされたか確認されたい場合は「タイムライン」をタップして下さい。

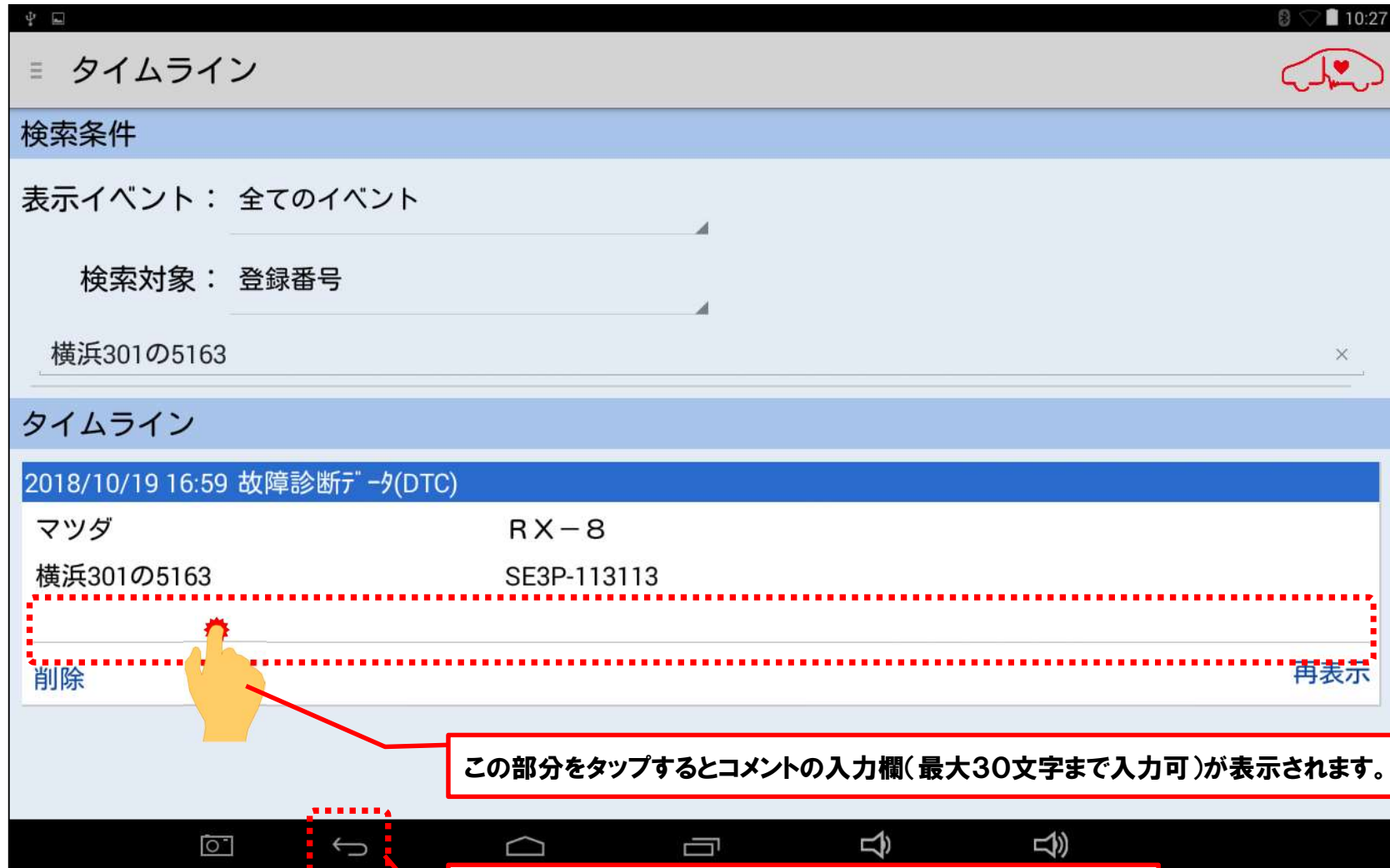


タイムラインをタップする前に、車両情報の欄に確認したい車両の情報を表示させて下さい。(手順は95～100ページを参照下さい。)



## 手順5: 紐付の確認

(2) タイムライン上に移動したデータが表示されていれば完了です。



この部分をタップするとコメントの入力欄(最大30文字まで入力可)が表示されます。

前の画面(車両一覧)に戻る場合は、ここをタップして下さい。